衛生機器表

記号	名称	仕様	電気容量 φ	電気容量 V	電気容量 kW	台数	設置場所	備考
ＰＤ－１	汚水排水ポンプ	5Cφ×150L min×10m　水中型、汚物兼水用、着脱装置付、非自動型	3	200	1.5	2	汚水槽	
		スルース弁・汚物用チャッキ弁(ナイロンコーティング)、逆成計共						
ＰＤ－１'	汚水排水ポンプ制御盤	屋内壁掛形、自動交互単独運転、強制運転タイマー、漏電ブレーカー、				1	ゴミ置場	
		進相コンデンサ、運転・故障・満水表示及び外部出力端子付						
		フロートスイッチ（運転・停止・満水警報）共						
ＰＤ－２	湧水排水ポンプ	5Cφ×100L min× 9m　水中型、雑排水用、非自動型、逆成計共	3	200	0.75	2	湧水槽（１）	
ＰＤ－２'	湧水排水ポンプ制御盤	屋内壁掛形、自動交互単独運転、漏電ブレーカー、				1	機械室	
		進相コンデンサ、運転・故障・満水表示及び外部出力端子付						
		フロートスイッチ（運転・停止・満水警報）共						
ＰＤ－３	湧水移送ポンプ	4Cφ× 50L min× 7m　水中型、雑排水用、自動型（フロートスイッチ付）	3	200	0.4	1	湧水槽（２）	
		フロートスイッチ（満水警報）共						
ＥＷＨ－１	電気温水器	床置形、貯湯式（貯湯量20L）、ウィークリータイマー付	1	200	2.0	1	休憩室	
		２温度（熱湯・混合湯）出湯タイプ						
		減圧逆止弁・安全弁・屋内止水栓・ブローコック共						
		電源コード付　自主試験基準適合品						

＊特記事項

１）電気容量は参考値とする。

２）排水ポンプ及びフロートスイッチとポンプ制御盤間の配管・配線は別途電気工事とする。

３）電気温水器本体に「1ヶ月に1回程度安全弁の手動レバーを操作し動作確認を行ってください」という銘板を付ける。

男子便所

名称	仕様・札幌市番号	数量	備考（参考品番）
洋風大便器	節水Ⅱ形大便器　ＪＩＳ記号：Ｃ１２００Ｓ	1	TOTO：CS220B,SH206AS,TC301
	防露便器、防露式密結形ロータンク(手洗無し)、普通便座		LIXIL：BC-110STU+DT5500B,_CF-47AT
紙巻器	ＳＡ－３	1	
小便器	感知式自動洗浄壁掛形（大形・低リップ・ＡＣ１００Ｖ）	2	TOTO：UFS800XE
			LIXIL：U-A51AP
手洗器	はめ込み楕円形、電気温水器一体形自動水栓、Ｓトラップ	1	TOTO：L546U,REAH03A1RS41A
	電気温水器（壁掛形、貯湯量３Ｌ、過温出湯、止水栓共）		LIXIL：L-2291,EHMN-CA3S5-AN200V1
	１φ×１００Ｖ×０.６ｋＷ		
掃除用流し	ＳＶＳ－１	1	

女子便所

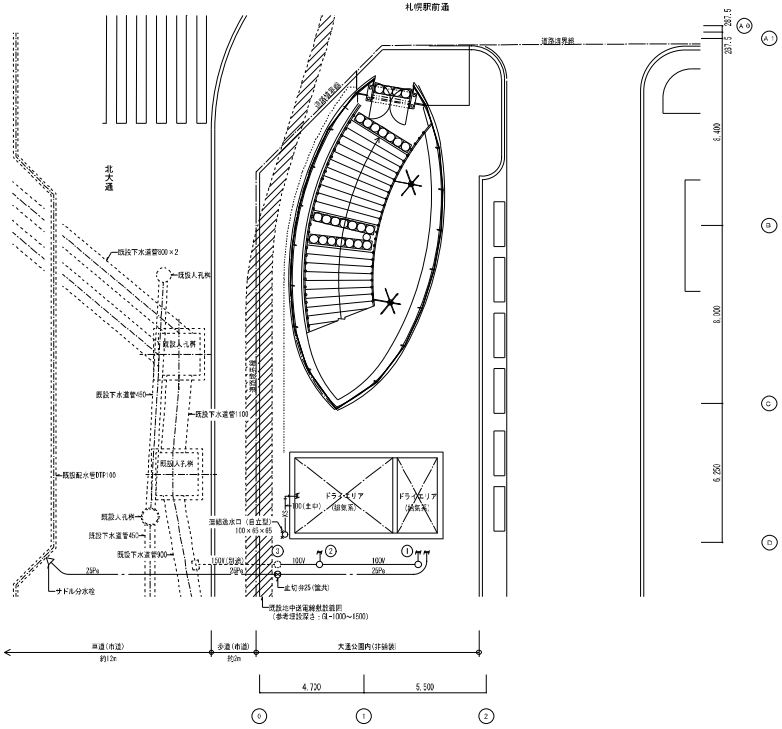
名称	仕様・札幌市番号	数量	備考（参考品番）
洋風大便器	節水Ⅱ形大便器　ＪＩＳ記号　Ｃ１２００Ｓ	2	TOTO：CS220B,SH206AS,TC301
	防露便器、防露式密結形ロータンク(手洗無し)、普通便座		LIXIL：BC-110STU+DT5500B,_CF-47AT
紙巻器	ＳＡ－３	2	
腰掛便器	埋込形（ＡＣ１００Ｖ式）	2	TOTO：YES412R
			LIXIL：KS-612
手洗器	はめ込み楕円形、電気温水器一体形自動水栓、Ｐトラップ	1	TOTO：L546U,REAH03A1RS41A
	電気温水器（壁掛形、貯湯量３Ｌ、過温出湯、止水栓共）		LIXIL：L-2291,EHMN-CA3S5-AN200V1
	１φ×１００Ｖ×０.６ｋＷ		

休憩室

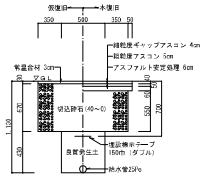
名称	仕様・札幌市番号	数量	備考（参考品番）
湯水混合水栓	立型シングルレバー　ＳＦ－３１	1	
給湯立水栓	台付自在形、スパウト270mm　ＳＦ－３２	1	
（ミニキッチン）		（1）	建築工事

物品庫

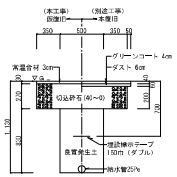
名称	仕様・札幌市番号	数量	備考（参考品番）
散水栓	自動抜手付　ＳＦ－５	1	



衛生設備　屋外平面図　S=1/100

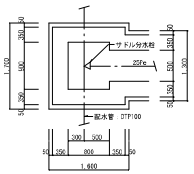


車道部断面参考図（給水）　S=NO

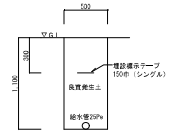


歩道部断面参考図（給水）　S=NO

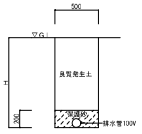
※歩道部の本復旧は別途工事。



分水栓取出し部分平面参考図　S=NO

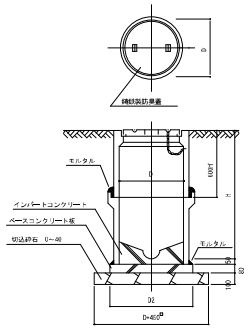


大通公園内非舗装部断面参考図（給水）　S=NO



大通公園内非舗装部断面参考図（排水　S=NC

※H＞1,000とする。



汚水桝詳細図　S=1/20

桝 径 D	鋳鉄蓋径D'	最高深さH	D2
300	300	――	650φ
450	400	900	650φ
600	500	1200	850φ
900	600	制限なし	1400φ

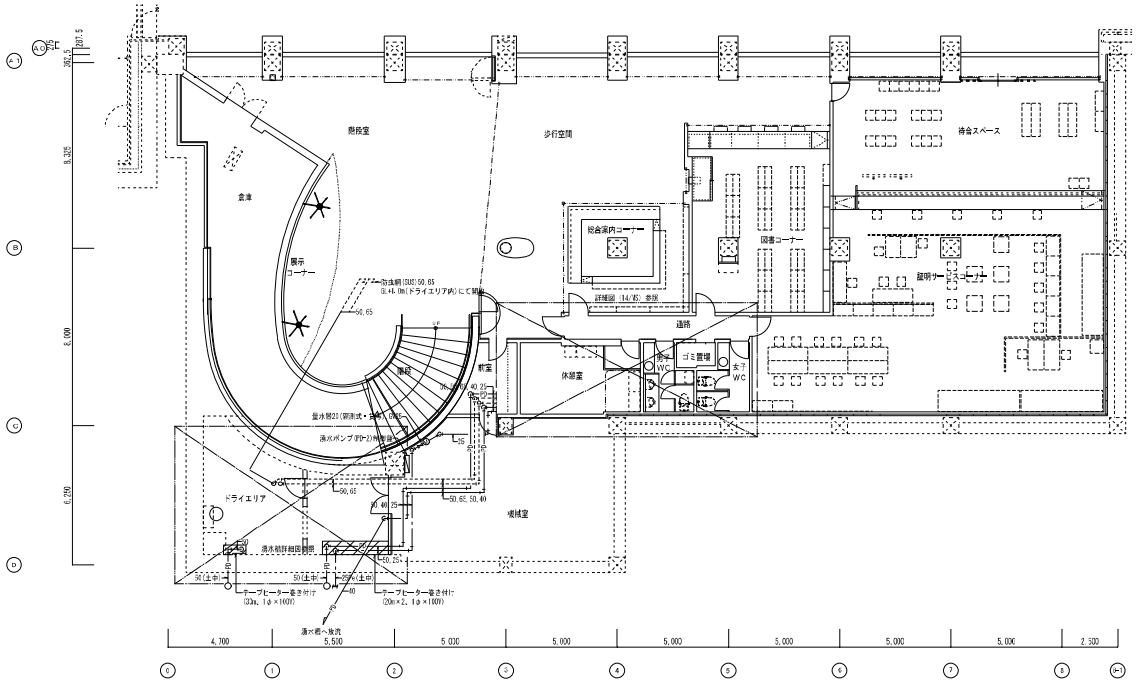
○鋳鉄製防臭蓋は、鋳付とする。
○桝径D＝300は、浄化槽及び点検用のみとする。

桝一覧表

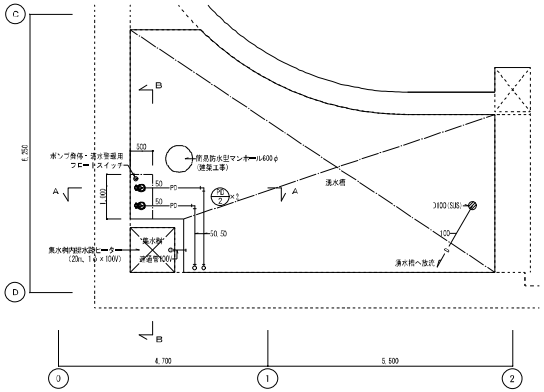
記号	桝名称	桝径 × 桝深さ	桝及び蓋仕様	参考地盤高	参考管底高	備考
1	汚水桝	450φ × 720H	インバート桝、MHB－R400φ	20.30	19.58	
2	〃	450φ × 770H	〃 、 〃	20.30	19.53	
3	公共桝	450φ × 800H		20.30	19.50	別途工事

※北大通車道地盤高（参考）：20.0

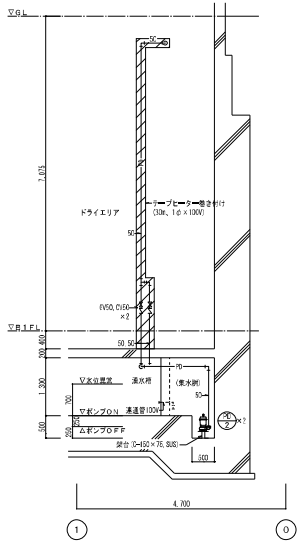
訂正事項	株式会社　北日本技術コンサル	工事名	図面名称	縮尺	校閲	担当	製図	作成年月日	図面番号
	（一般）建設土木部門（北海道）知事登録（石）第474・号　管理建築士　丹野　晶平 一級建築士 登録186934号　丹野　晶平 印	社会資本整備総合交付金事業事業 大通交流拠点（新規拡張部）ほか冷暖房衛生設備工事 （新規拡張部冷暖房衛生設備工事）	衛生・消火設備　屋外平面図	1／100				H25・2・	12／MS



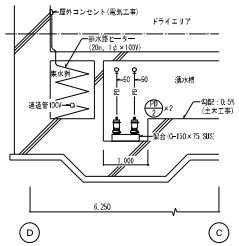
衛生設備　地下１階平面図　S=1/100



湯水槽平面詳細図　S=1/50



湯水槽Ａ－Ａ断面詳細図　S=1/50

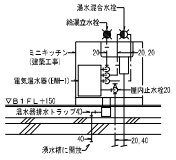


湯水槽ロ－ロ断面詳細図　S=1/50

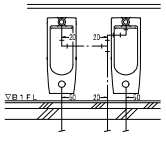
特記事項

- 特記なき配管は天井配管とする。
- 特記なき給水管仕切弁は40Aとする。
- 量水器設置高さは1.1m程度とする。
- 隠蔽式量水器の配管配線は別途電気工事とし、接続は本工事とするとする。
- ポンプ発停、水位異常高さは参考値とする。
- ドライエリア内を通る給水管・排水管には、テープヒーター巻きの上保温施工を行う。
- 給排水管の土中～ドライエリア貫通部は既存スリーブ(土木工事)を使用する。

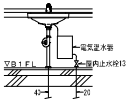
訂正事項	株式会社　北日本技術コンサル	工事名	図面名称	縮尺	校閲	担当	製図	作成年月日	図面番号
	（一般）建築士事務所（北海道）知事登録（石）第474・号　管理建築士　丹野　晶平 一級建築士 登録186934号　丹野　晶平 印	社会資本整備総合交付金事業事業 大通交流拠点(新規拡張部)ほか冷暖房衛生設備工事 （新規拡張部冷暖房衛生設備工事）	衛生設備　地下平面図、断面詳細図	1/100, 1/50, 1/30				H25・2・	13/MS



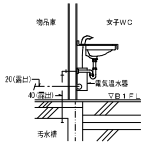
休憩室ミニキッチン配管要領図　S=1/30



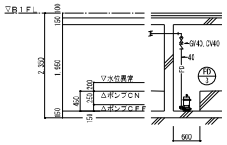
男子WC小便器配管要領図　S=1/30



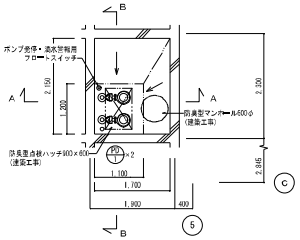
男子WC手洗器配管要領図　S=1/30



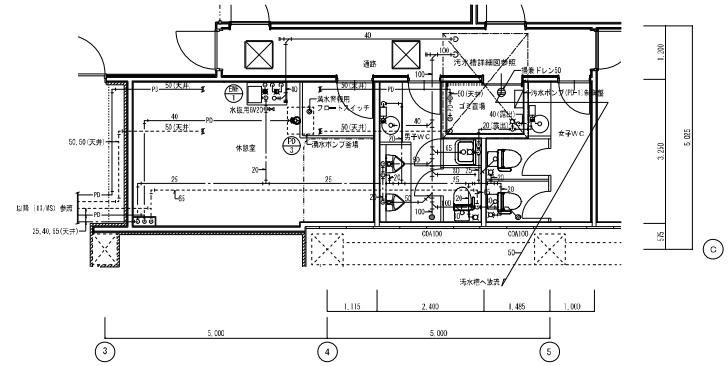
女子WC手洗器配管要領図　S=1/30



FD-1まわり断面詳細図　S=1/50



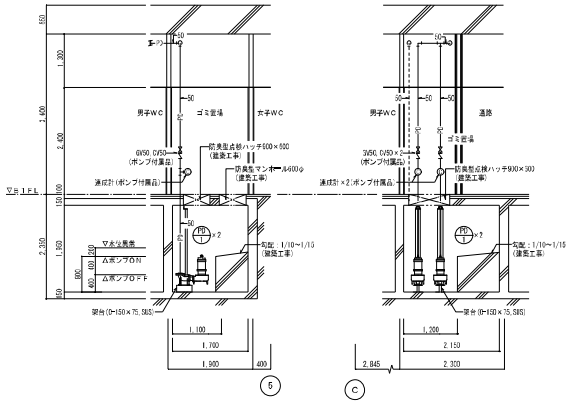
汚水槽平面詳細図　S=1/50



衛生設備　休憩室・便所平面詳細図　S=1/50

特記事項

- 特記なき配管は床下配管とする。
- 特記なき給水管仕切弁はHCKとする。
- ポンプ発停、水位異常高さは参考値とする。



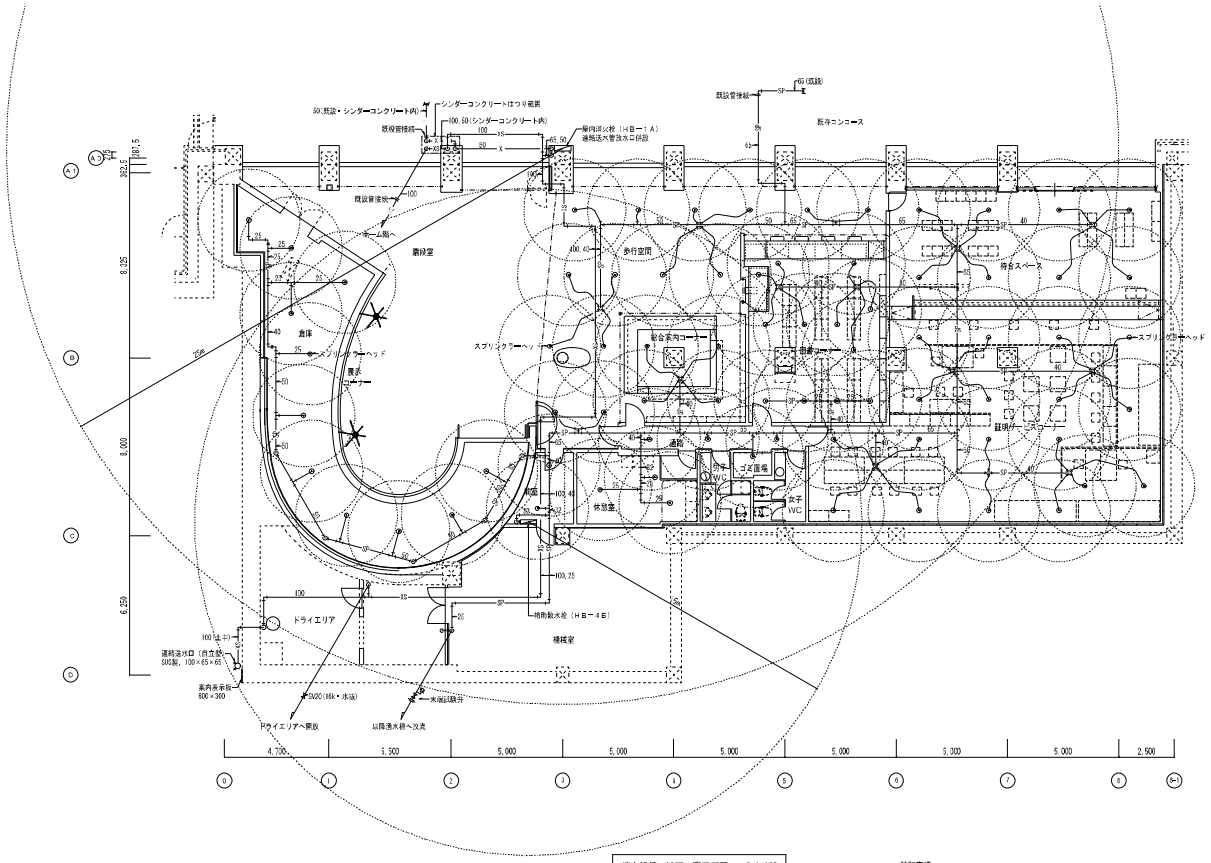
汚水槽A－A断面詳細図　S=1/50

汚水槽B－B断面詳細図　S=1/50

特記事項

- 排水ポンプの周囲・下部は200mmを確保する。
- ポンプ発停、水位異常高さは参考値とする。

訂正事項	株式会社　北日本技術コンサル	工事名	図面名称	縮尺	校閲	担当	製図	作成年月日	図面番号
	(一般)建築士事務所(北海道) 知事登録(石)第474-号　管理建築士　丹野　晶平 一級建築士 登録186934号　丹野　晶平 印	社会資本整備総合交付金事業事業 大通交流拠点(新規拡張部)ほか冷暖房衛生設備工事 (新規拡張部冷暖房衛生設備工事)	衛生設備　平面・断面詳細図	1/50, 1/30				H25・2・	14 / MS

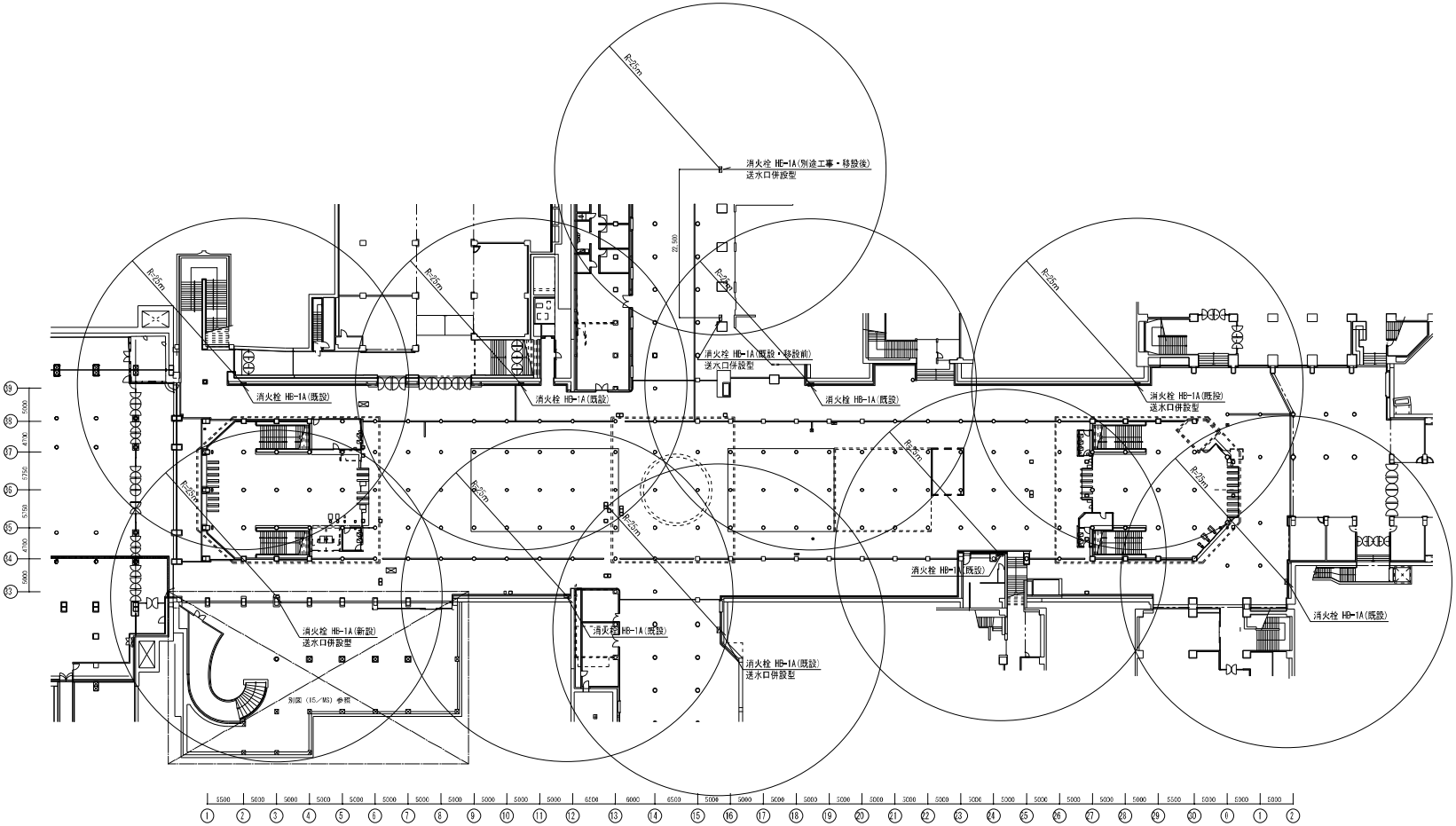


消火設備　地下１階平面図　S=1/100

特記事項

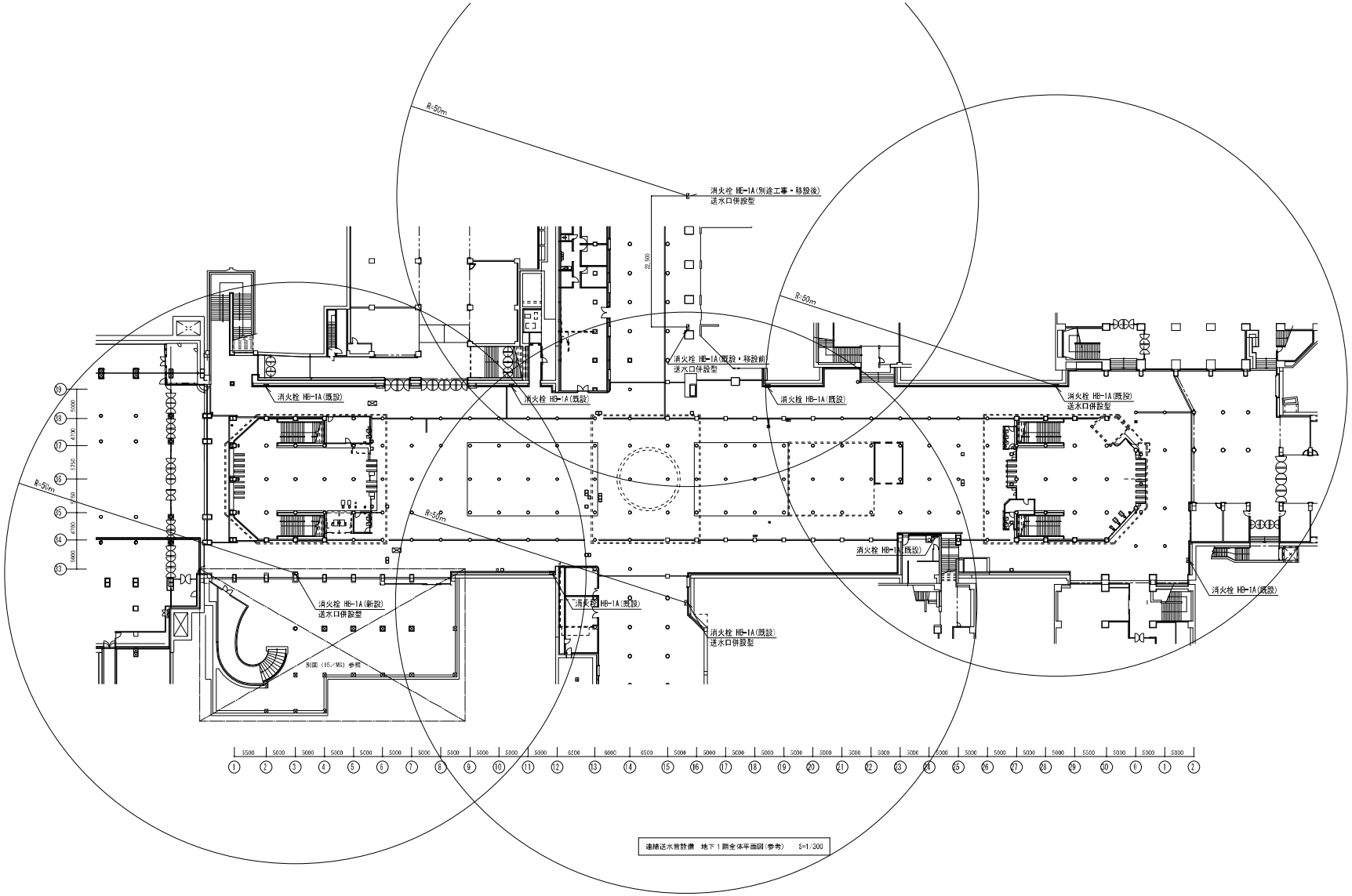
- 特記なき配管は天井配管とする。
- スプリンクラーヘッドは、閉鎖式・下向型（72℃）とする。
- 連結送水管のＥＬ＋ドライエリア貫通部呼び径スリーブ（土木工事）を使用する。
- シンダーコンクリートはつり範囲の床復旧は別途建築工事とする。
- 屋内消火栓及びスプリンクラー配管の既設管への接続は夜間工事とする。

訂正事項	株式会社　北日本技術コンサル （一般）建築士事務所（ロ）知事登録（石）第４７４１号　管理建築士　丹野　義平 一級建築士　登録　８５９３４号　丹野　義平　印	工事名	社会資本整備総合交付金事業事業 大通交流拠点（新規拡張部）ほか冷暖房衛生設備工事 （新規拡張部冷暖房衛生設備工事）	図面名称	縮尺	検閲	担当	設図	作成年月日	図面番号
				消火設備　地下平面図	1／100				H25・2・	15／MS



屋内消火栓設備　地下1階全体平面図(参考)　S=1/300

| | | |



連結送水管設備　地下１階全体平面図（参考）　S=1/300

訂正事項	株式会社　北日本技術コンサル	工事名	図面名称	縮尺	校閲	担当	製図	作成年月日	図面番号
	（一般）建築士事務所（北海道）知事登録（石）第４７４７号　管理建築士　丹野　昌平 一級建築士　登録１８６９３４号　丹野　昌平　印	社会資本整備総合交付金事業事業 大通交流拠点(新規拡張部)ほか冷暖房衛生設備工事 （新規拡張部冷暖房衛生設備工事）	連結送水管設備　地下１階全体平面図（参考）	１／３００				H25・２・	１７／ＭＳ

平成２６年度　衛生器具対照表

品　名	札幌市番号 （ ）内は旧建設省記号	記　事	ＴＯＴＯ	ＬＩＸＩＬ
和風大便器				
洗出し式 （床下給水）	ＳＶＣ　１	フランジ形	Ｃ７５５ＦＵ	Ｃ８５２Ｆ
洗出し式 （床上給水）	ＳＶＣ　２	フランジ形	Ｃ７５５ＶＦＵ	Ｃ８５２ＢＦ
寒冷地用	ＳＶＣ　３	トラップなし	廃番	廃番
〃	ＳＶＣ　４		Ｃ１３７ＶＲ	
〃　　厩用	ＳＶＣ４Ｗ		Ｃ１３７ＡＶ	
幼児用	ＳＶＣ　６		Ｃ１０３	Ｃ－Ｐ１４３Ｓ
公園便所用	ＳＶＣ　７	トラップなし	Ｃ３６Ｖ８	
洋風大便器				
洗落し式	ＳＶＣ２０		ＣＳ１４０	Ｃ－Ｐ１３Ｓ
〃	ＳＶＣ２０Ｕ	床上排水	ＣＳ１４０Ｐ	Ｃ－Ｐ１３Ｐ
寒冷地用	ＳＶＣ２１	トラップなし	Ｃ４１６ＲＱ	Ｃ１９
サイホン式	ＳＶＣ２２		Ｃ２１Ｎ	Ｃ４Ｒ
幼児用	ＳＶＣ２４		ＣＳ３００Ｂ	Ｃ４３
サイホン式	ＳＶＣ２５	タンク密結形	ＣＳ２２０Ｂ	ＢＣ－Ｚ１０ＳＵ
サイホンゼット	ＳＶＣ２６	〃	ＣＳ３０Ｂ	廃番
洗落し式	ＳＶＣ２７	〃	ＣＳ６７０Ｂ	Ｃ１１０ＳＴＵ
〃	ＳＶＣ２７Ｕ	〃　床上排水	ＣＳ６７０ＢＰ	Ｃ１１０ＰＴＵ
障害者用	ＳＶＣ２８		Ｃ４８０ＡＮ	Ｃ－Ｐ１５ＳＫ
〃	ＳＶＣ２９	（蓋なし）	ＣＳ２０ＡＢ	ＢＣ２２０ＳＫ
ロータンク				
防露式　スミ付	ＳＬＳ　１	手洗付	３６７０ＢＵ	ＤＴ３７０ＸＺＮ３２
〃　〃	ＳＬＳ　２		５７０Ｂ	ＤＴ５７０ＸＺＮ３２
〃　密結式	ＳＬＳ　３		ＳＳ６７０３ＮＫＬ	ＤＴＣ１５０ＵＮ
〃　〃	ＳＬＳ　４	手洗付	ＳＳ６７１３ＮＫＬ	ＤＴＣ１８０ＵＮ
〃　〃	ＳＬＳ　５	〃	ＳＳ３１３ＮＫＬ	ＤＴ－Ｚ１８０ＵＮ
〃　〃	ＳＬＳ　６		ＳＳ３０３ＮＫＬ	ＤＴ－Ｚ１５０ＵＮ
〃　〃	ＳＬＳ　７		ＳＳ３０３ＡＫＬＥ	ＤＴ－Ｋ２５０
小便器				
大形ストール（床）	ＳＶＵ　１	トラップ付	ＵＦＨ５０７Ｃ	
中形　〃	ＳＶＵ　２	〃		Ｕ３２１ＲＭ
小形　〃	ＳＶＵ　３	〃	ＵＦＨ５０８Ｃ	Ｕ３３１ＲＭ
壁掛式大型	ＳＶＵ　４	〃	ＵＦＨ５７０	Ｕ４４１Ｒ
小形　〃	ＳＶＵ　７	トラップ無し	ＵＦＨ５０８Ｍ	
小形 壁掛ストール	ＳＶＵ　９	トラップ付	ＵＦＨ５５７	Ｕ４３１Ｒ
洗浄機器				
焦電センサー	ＳＥ　１	コントローラ共 （自動Ｆ．Ｖ用）	廃番	廃番
〃	ＳＥ　２	コントローラ共 （自動Ｈ．Ｔ．Ｖ用）	廃番	廃番
自動Ｈ．Ｔ．Ｖ．	ＳＥ　３		廃番	廃番
自動Ｆ．Ｖ．	ＳＥ　４		廃番	廃番
個別感知Ｆ．Ｖ．	ＳＥ　５		ＴＥＡ９９ＳＮ	ＯＫＵ１３２ＳＭ
手洗衛生 フラッシュ弁	ＳＥ　５		Ｔ１９Ｘ	ＬＦ３０
足踏式(ﾘﾓｺﾝ) フラッシュ弁	ＳＥ　７		ＴＶ７４０ＥＲＲＶＬ８ ＴＵ１４０ＲＸＶＬ３	廃番
ハイタンク 自動排水弁	ＳＥ　８		廃番	
小便器用手押 フラッシュ弁	ＳＥ　９		Ｔ６００ＰＮＸ	ＵＦ３Ｊ
リモコン便器 洗浄ユニット	ＳＥ１０		ＨＥ１０	ＣＷＡ６６
陶製流し				
● 掃除用流し	ＳＶＳ　１		ＳＫ２２Ａ	Ｓ２０２Ａ
汚物流し	ＳＶＳ　４	サイホンゼット	ＳＫ３３０Ｃ	Ｓ２３３
実験用流し	ＳＶＳ　５	ベルトラップ付	ＳＫ７３Ｒ	Ｓ１０５
角形 実験用流し	ＳＶＳ　６			Ｓ１０７
〃	ＳＶＳ　７		ＳＫ１３８ＶＳ	

品　名	札幌市番号 （ ）内は旧建設省記号	記　事	ＴＯＴＯ	ＬＩＸＩＬ
ハイタンク				
２連用　防露式	ＳＨＳ　１	自動サイホン付	Ｓ４０９ＢＲＱ	
３連用　〃	ＳＨＳ　２	〃	Ｓ４０９ＢＲＱ	
４連用　〃	ＳＨＳ　３	〃	Ｓ４０８ＢＲＱ	
５連用　〃	ＳＨＳ　４	〃	Ｓ４０８ＢＲＱ	
２連用　〃	ＳＨＳ　５	自動排水弁用	Ｓ４０９ＢＡＲＱ（８Ｌ）	
３連用　〃	ＳＨＳ　６	〃	Ｓ４０９ＢＡＲＱ（１２Ｌ）	
洗面器				
小形（廃止）	ＳＶＬ　１		ＳＶＬ３に統合	廃番
小形	ＳＶＬ　３		Ｌ２１０Ｃ	Ｌ１３２Ｇ
中形	ＳＶＬ　４	水栓、ｽﾄﾗｯﾌﾟ、ｱﾝｸﾞﾙ止め栓	Ｌ２５０Ｃ，ＴＬＳ１１，Ｔ６９ＮＳ ＴＬ３４０Ｃ８Ｕ	Ｌ７６９ＡＣ，ＬＦ－Ｅ０１，ＬＦ－５５ＡＵ ＬＦ－３－Ｕ
はめ込み形	ＳＶＬ　５		Ｌ５０７ＲＵＱ	Ｌ２５８４ＥＣ
〃　楕円形	ＳＶＬ　６		Ｌ５２５ＣＦＲＵ	Ｌ２５９４ＥＣ
身障者用	ＳＶＬ　７	シングルレバー	Ｌ１０３ＣＦ	Ｌ３６５ＦＣＰＲ
手洗器				
平　付　（大）	ＳＶＬ　９	水栓穴２個	Ｌ３０ＤＭ	Ｌ１５Ｇ
〃　（小）	ＳＶＬ１０		廃番	廃番
すみ付　（小）	ＳＶＬ１２		Ｌ１０ＤＱ	Ｌ９２
洗面化粧台				
洗面化粧台	ＳＬＤ　１	洗面所内造作家具式（配管部分のみ）、 ｽﾄﾚｰﾄ止水栓、床給水、単水栓（特）	ＬＤＡ５０６ ＡＤＵＡ Ｌ０８７	ＦＴＶＮ５０３Ｎ
〃	ＳＬＤ　２	洗面所内造作家具式（配管部分のみ）、 ｽﾄﾚｰﾄ止水栓、床給水、ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ（特）	ＬＤＡ６０６ ＡＥＵＡ Ｌ０８５	ＦＴＶＮ６０４Ｎ
〃	ＳＬＤ　４	洗面所内造作家具式（配管部分のみ）、 ｽﾄﾚｰﾄ止水栓、床給水、ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ、 水石鹸入付、溢れ面６００ｍｍ（特）	廃番	廃番
〃	ＳＬＤ　５	洗面所内造作家具式（配管部分のみ）、 ｽﾄﾚｰﾄ止水栓、床給水、ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ	ＬＤＡ５０６ ＡＣＵＡ Ｌ０８５ ＴＬＨＧ３０ＧＺ	ＦＴＶＮ５０４Ｎ
水栓類				
横水栓	ＳＦ　１Ａ（Ｆ４）		Ｔ２３ＡＵＮ	ＬＦ７Ｕ
胴長横水栓	ＳＦ　１Ｂ（Ｆ３）		Ｔ２３ＢＵＮ	ＬＦ７ＫＵ
レバー式 胴長横水栓	ＳＦ　１Ｂ８（Ｆ３）		Ｔ２３ＢＱＦ１３	ＬＦ７ＫＺＵ
横水栓	ＳＦ　２（Ｆ１２）	カップリング付	Ｔ２８ＡＵＮＨ１３	ＬＦ１５Ｕ
散水栓	ＳＦ　３	自動縦手	Ｔ２８ＵＮＨ１３	ＬＦ３３Ｕ
〃	ＳＦ　４	カップリング付	Ｔ２８ＵＮＨ１３	ＬＦ１３Ｕ
● 横水栓 | ＳＦ　５（Ｆ１２） | 自動縦手 | Ｔ２８ＡＵＮＨ１３ | ＬＦ３５Ｕ |
横形自在水栓 | ＳＦ　６（Ｆ１０Ａ） | | Ｔ１３１ＳＵＮ１３ | ＬＦ１６Ｕ |
自在水栓 | ＳＦ　７（Ｆ５） | | Ｔ１３０ＡＵＮ１３ | ＬＦ１２Ｕ |
レバー式
自在水栓 | ＳＦ　７Ｓ | レバー長さ
１００ｍｍ程度（特） | Ｔ３０ＡＲＱＦ
１３Ｖ１２Ｃ | ＬＦ１２ＺＵ |
立形自在水栓 | ＳＦ　８（Ｆ６） | | Ｔ１３６ＳＵＮ１３ | ＬＦ１４Ｕ |
胴長横水栓 | ＳＦ　９（Ｆ３） | 泡沫式 | 廃番 | ＬＦ７ＫＦＵ |
自在水栓 | ＳＦ１０（Ｆ５） | 〃 | Ｔ１３０ＡＵＮ１３ | ＬＦ１２ＦＵ |
レバー式
自在水栓 | ＳＦ１０Ｓ | （泡沫式）　レバー
長さ１００ｍｍ程度（特） | Ｔ１３０ＡＲＱ
１３Ｖ２ | ＬＦ１２ＺＦＵ |
横形自在水栓 | ＳＦ１１（Ｆ１０Ａ） | 泡沫式 | Ｔ１３１ＳＵＮ１３ | ＬＦ１６ＦＵ |
立形自在水栓 | ＳＦ１２（ＦＳＡ） | 〃 | Ｔ１３６ＳＵＮ１３ | ＬＦ１４ＦＵ |
首長自在水栓 | ＳＦ１３（Ｆ５） | | Ｔ１３２ＡＵＮ１３ | ＬＦ１２（２２０）Ｕ |
〃　立形 | ＳＦ１４（ＦＳＡ） | | Ｔ１３６ＢＵＮ１３ | ＬＦ１４（Ｓ３００）Ｕ |
立水栓 | ＳＦ１５（Ｆ１） | | Ｔ２０５ＵＮ | ＬＦ１Ｕ |
万能ホーム水栓 | ＳＦ１６Ａ（Ｆ７） | | Ｔ２００ＳＵＮ | ＬＦ７ＲＵ |
〃　胴長 | ＳＦ１６Ｂ（Ｆ６） | | Ｔ２００ＢＳＵＮ　Ｖ１Ｃ | ＬＦ７ＫＲＵ |
レバー式
ホーム水栓 | ＳＦ１６Ｂ８（Ｆ６） | | Ｔ２００ＢＳＱＦ１３ | ＬＦ７ＫＲＺＵ |
万能ホーム
立水栓 | ＳＦ１７（Ｆ８） | | Ｔ２１０ＳＵＮ | ＬＦ１ＲＵ |
自在水栓 | ＳＦ１８ | オリタタミ式（特） | Ｔ１３９ＡＲＳ１３
Ｖ１６ＫＸＣ | ＬＦ１２１ＦＵ |

※水栓類のうち、単水栓や２バルブ式湯水混合水栓のこま型式は、固定こま（ビス止め）式とする。（寒冷地仕様）

品　名	札幌市番号 （ ）内は旧建設省記号	記　事	ＴＯＴＯ	ＬＩＸＩＬ
台付化学水栓１口	ＳＦ２２（Ｆ１５）		Ｔ４２ＡＵ	ＬＦ１０１Ｕ
〃　２口	ＳＦ２３（Ｆ１５）		Ｔ４２ＢＵ	ＬＦ１０２Ｕ
〃　３口	ＳＦ２４（Ｆ１５）		Ｔ４２ＣＵ	ＬＦ１０３Ｕ
壁付化学水栓１口	ＳＦ２５（Ｆ１５）		廃番	ＬＦ１０１ＷＵ
〃　２口	ＳＦ２６（Ｆ１５）		Ｔ４４ＢＵ	ＬＦ１０２ＷＵ
〃　３口	ＳＦ２７（Ｆ１５）		Ｔ４４Ｃ	ＬＦ１０３ＷＵ

品　名	札幌市番号 （ ）内は旧建設省記号	記　事	ＴＯＴＯ	ＬＩＸＩＬ
台付化学水栓２口	ＳＦ２８	ｽﾃﾝﾚｽ流し用（鋏込支持）（特）	廃番	廃番
〃　４口	ＳＦ２９	（木ネジ固定用）	Ｔ４３ＤＵ	ＬＦ２０４Ｕ
湯水混合水栓	ＳＦ３０	立形シングルレバー	ＴＫＧＧ３１ＥＺ	ＳＦ－ＨＢ４４２ＳＸＮ
● 〃	ＳＦ３１	〃	ＴＫＧＧ３３ＥＺ	ＳＦ－ＨＥ４３０ＳＮ
● 給湯立水栓	ＳＦ３２	台付自在水栓、 ｽﾊﾟｳﾄ２７０ｍｍ（特）	Ｔ１３６ＢＵＮ１３　Ｘ３Ｘ	ＬＦ１４ＬＤＣ（Ｓ２７０）１３
湯水混合水栓	ＳＦ３３	シングルレバー	ＴＫＧＧ３０ＥＺ	ＳＦ－ＨＥ４３５ＳＮ
〃	ＳＦ３４		ＴＫＧＧ３１Ｆ７	ＳＦ－ＨＦ４２０ＳＸＮ
撹型洗眼水栓	ＳＦ４０		Ｔ２４８ＲＲＺ	ＬＦ２３Ｎ
シャワーセット	ＳＦ６８	ｻｰﾓｽﾀｯﾄ（Ｍａｘ４２～４５℃）、 ｽﾊﾟｳﾄ３００ｍｍ（特）	ＴＭＧＧ４０ＬＬＥＺＶ１Ｘ	ＢＦ－ＨＥ１４５ＴＮＳＤ（Ｓ３００）
湯水混合水栓	ＳＦ７０（Ｆ２Ｃ）	２バルブ（台付）	ＴＫＪ２３ＵＲ	ＳＦ１３０ＧＵ
〃	ＳＦ１０１（Ｆ２Ａ）	２バルブ（壁付）	Ｔ２０ＢＵ	ＳＦ２１２ＲＵＵ
シャワーバス金物	ＳＦ１０２（Ｆ１８Ａ）	２バルブ	ＴＭＳ２５ＣＵ	ＢＦＭ２０５ＨＮ
〃	ＳＦ１０３	サーモスタット付	ＴＭＧＧ４０ＥＺ	ＢＦ－ＨＥ１４５ＴＮ
〃	ＳＦ１０４	２バルブ（一時止水）	ＴＭＳ２０ＣＺ	ＢＦ６１５ＨＮＧ
湯水混合水栓	ＳＦ１０５（Ｆ２Ａ）	２バルブ（洗濯機用）	ＴＷ２０－１ＲＺ	ＳＦＭ６３ＲＱＮ
シャワーバス金物	ＳＦ１０６	サーモスタット付	ＴＭＦ４０ＣＦＲＲＺ	ＢＦ－ＨＢ１４５ＴＮ
バス用混合水栓	ＳＦ１０７	〃	ＴＭＦ４０ＡＮＺ	ＢＦ－ＨＢ３４５ＴＮ
バス用混合水栓	ＳＦ１０７Ｋ	ｻｰﾓｽﾀｯﾄ付、壁付	ＴＭＧＧ４０ＡＺ	ＢＦ－ＨＥ３４５ＴＮ
湯水混合栓	ＳＦ１０８（Ｆ２Ａ）	２バルブ	Ｔ２０ＡＵ	ＳＦ２１６ＲＵＵ
レバー式自在水栓	ＳＦ１０９	（泡沫式）　レバー 長さ１００ｍｍ程度（特）	Ｔ１３０ＡＲＱ１３ＶＺ	ＬＦ１２ＺＦＵ
レバー式 湯水混合水栓	ＳＦ１１０	２バルブ　レバー 長さ６５ｍｍ程度（特）	廃番	ＳＦ７ＲＺＮ （Ｒ６５）
レバー式 撹水栓	ＳＦ１１１	カップリング付レバ ー長さ６５ｍｍ程度（特）	Ｔ２８ＡＵＮ１３Ｖ２	ＬＦ－３５Ｚ－１３（Ｒ６５）－Ｕ
レバー式 混合水栓	ＳＦ１１２	シングルレバー 混合栓	ＴＬＨＧ３０ＧＺ	ＬＦＢ３５５Ｓ
洗濯機用水栓	ＳＦ１１３		ＴＷ１１ＲＦ	ＬＦ－ＨＮ５０ＫＱ－Ｕ
シャワーセット	ＳＦ１１４	ｻｰﾓｽﾀｯﾄ、ｽﾊﾟｳﾄ３００ｍｍ（特）	ＴＭＧＧ４０ＥＺトク	ＢＦ－ＨＥ１４５ＴＮＳＤ（Ｓ３００）
レバー式 混合水栓	ＳＦ１１５	シングルレバー混合栓 （仕水口回転）	ＴＬＨＧ３０ＤＣＥＺ	ＬＦ－３４４ＳＮ／Ｎ８８
アクセサリー				
化粧鏡	ＳＭ　１	３００×３５０	ＹＭ３０３５Ａ	ＫＦ３０３５（ＡＹ）
〃	ＳＭ　２	３００×４５０	ＹＭ３０４５Ａ	ＫＦ３０４５
〃	ＳＭ　３	３５０×４５０	ＹＭ３５４５Ａ	ＫＦ３５４５（ＡＹ）
〃	ＳＭ　４	４５０×６００	ＹＭ４５６０Ａ	ＫＦ４５６０（ＡＹ）
〃　盗難防止	ＳＭ　５	３６３×４５５	ＹＭ３５４５ＡＥ	ＫＦ３５４５Ｅ（ＡＹ）
〃　盗難防止	ＳＭ　６	４５５×６０８	ＹＭ４５６０ＡＥ	ＫＦ４５６０Ｅ（ＡＹ）
割食鏡	ＳＭ　７	３５０×４５０	ＹＭ３５４５Ｆ	ＫＦ３５４５Ａ（ＡＹ）
身障者用傾斜鏡	ＳＭ　８		ＬＭ５３１	廃番
化粧鏡	ＳＭ　９	３５０×４５０	ＹＭ３５４５Ａ	ＫＦ３５４５
割食鏡	ＳＭ１０	４５０×６００	ＹＭ４５６０Ｆ	ＫＦ４５６０Ａ（ＡＹ）
化粧鏡	ＳＭ１１	６００×７５０	ＹＭ６０７５Ａ	ＫＦ６０９０（ＡＹ）
割食鏡	ＳＭ１２	６００×７５０	ＹＭ６０７５Ｆ	ＫＦ６０９０Ａ
水石けん入れ	ＳＳ　１		ＴＳ１２５Ｒ	ＫＦ２４Ｇ
〃	ＳＳ　２		ＴＳ１２６Ｒ	
〃	ＳＳ　３		ＴＳ１２６ＡＲ	ＫＦ２４Ｆ
〃	ＳＳ　４		ＴＳ１２７ＡＭＮ	ＫＦ２４ＥＭ
埋込石けん受け	ＳＳ　５		廃番	Ｈ１５２
壁掛石けん受け	ＳＳ　７		Ｓ８Ｑ	Ｈ１２１
化粧棚				
〃	ＳＴ　２		Ｓ３Ｒ	Ｈ３６
〃	ＳＴ　３		ＹＭＫ８１２Ｅ１＃ＡＳ	ＫＦ５
タオル掛 | ＳＨ　１ | | ＴＳ１１３Ａ１Ｒ | ＫＦ１１Ｓ |
タオルリング | ＳＨ　３ | | ＹＴ４１０ | ＫＦ－９１ |
注意板 | ＳＡ　１ | | Ａ２１ | Ｈ３２１ |
小便器用仕切板 | ＳＡ　２ | | 廃番 | Ｐ３ |
● 紙巻器 | ＳＡ　３ | | ＴＳ１１６Ｒ | ＣＦ１２Ｃ |
〃 | ＳＡ　４ | 芯なし可タイプ | ＹＨ４０５ | ＣＦ１２ＪＺ２ |
〃 | ＳＡ　５ | ワンタッチ式 | ＴＳ１１６ＭＤＲ | ＣＦ３２Ｈ |

		ｻﾝｳｪｰﾌﾞ工業	白石製作所	磯口
流し台１２００（一般）	Ｋ　１	１２００×５５０×８００Ｈ	ＫＪ－１２００Ｖ	廃番	ＳＨ－１２００
流し台１４００（一般）	Ｋ　２	１４００×５５０×８００Ｈ	ＫＪ－１４００Ｖ	廃番	ＳＨ－１４００
流し台（車いす用）	ＫＨ　３	１４００×５５０×８００Ｈ	ＫＪ－１４００ＷＫＶ	廃番	ＣＳＨ１４００
〃　（〃）ビンワゴン	ＫＨＷ１	５００×３９０×５３０Ｈ	ＫＪ－５００ＢＷＫＶ	廃番	ＷＳＨ－５００Ｂ
〃　（〃）引出しワゴン	ＫＨＷ２	６００×３９０×５３０Ｈ	ＫＪ－６００ＨＷＫＶ	廃番	ＷＳＨ－６００Ｄ
コンロ台（一般）	ＫＧ　１	７００×５４５×５２０Ｈ	ＫＪ－ＧＡＶ	廃番	ＳＨ－７００Ｋ
コンロ台（車いす用）	ＫＨＧ２	７００×５４５×５２０Ｈ	ＫＪ－ＧＡＷＫＶ	廃番	ＣＳＨ－７００Ｋ

札幌市都市局建築部

課名	課長	係長	製図	設計主任	Ｈ　年　月　日
機械設備課					・　・　・ ・　・　・

工事名　社会資本整備総合交付金事業
大通交流拠点（新規拡張部）ほか冷暖房衛生設備工事
（新規拡張部冷暖房衛生設備工事）

図面名　衛生器具対照表　SCALE

図番　18／MS

社会資本整備総合交付金事業
大通交流拠点（新規拡張部）ほか電気設備工事

図面番号	図面名称	縮尺
０１	特記仕様書　１	——
０２	特記仕様書　２	——
０３	特記仕様書　３	——
０４	特記仕様書　４	——
０５	附近見取図・配置図	１：２，５００ １：２５０
０６	地下１階電灯設備図	１：１００
０７	１階電灯設備図	１：１００
０８	地下１階誘導灯・非常灯設備図	１：１００
０９	吹抜け部分照明配置参考図	１：３０
１０	地下１階電灯制御配線図・照明器具姿図	１：１００
１１	地下１階コンセント設備図	１：１００
１２	地下１階幹線設備図	１：１００
１３	地下１階動力設備図〔１〕　換気・空調	１：１００
１４	地下１階動力設備図〔２〕　排煙・防火シャッター・ポンプ	１：１００
１５	地下１階動力設備図〔３〕　警報移報	１：２００
１６	地下１階受変電設備図	１：１００
１７	単線結線図・幹線系統図	——
１８	電灯盤図（Ｌ－１・Ｌ－２・展示コンセント盤）	——
１９	電灯盤図（Ｌ－３）	——
２０	動力盤図	——
２１	自家発電設備　仕様書・外観（参考）	——

図面番号	図面名称	縮尺
２２	地下１階弱電設備図〔１〕　電話配管・インターホン・ケイネージディスプレイ	１：１００
２３	地下１階弱電設備図〔２〕　時計・無線・機械警備用配管	１：１００
２４	地下１階弱電設備図〔３〕　無線通信補助設備・インターホン設備	１：２００
２５	地下１階放送設備図〔１〕	１：１００
２６	地下１階放送設備図〔２〕　南北線コンコース	１：２００
２７	地下１階放送設備図〔３〕　東西線コンコース	１：２００
２８	地下１階情報通信設備図（１）	１：１００
２９	地下１階情報通信設備図（２）南北線コンコース	１：２００
３０	地下１階情報通信設備図（３）東西線コンコース	１：２００
３１	地下１階情報通信設備図（４）東西線コンコース	１：２００
３２	地下１階情報通信設備図（５）東西線・東豊線コンコース	１：２００
３３	自動火災報知設備　系統図・凡例・特記	——
３４	自動火災報知設備　ブロック図・点数表	——
３５	自動火災報知設備（１）	１：１００
３６	自動火災報知設備（２）南北線コンコース	１：２００
３７	自動火災報知設備（３）東西線コンコース	１：２００
３８	東豊線駅務室グラフィックパネル改修図	——
３９	融雪・暖房設備　器具仕様書	１：１００
４０	融雪・暖房設備　平面図	１：１００
４１	屋外構内配電線路・通信線路図	１：１００

特　記　仕　様　書

Ⅰ．工事名称　社会資本整備総合交付金事業　大通交流拠点（新規拡張部）ほか電気設備工事

Ⅱ．工事概要

1．工事場所　　札幌市中央区大通西４丁目（地下）

2．しゅん功期限　　着手の日から　　平成２７年　１月２６日　まで

　部分しゅん功期限　　平成２６年１１月２１日　まで

　部分引渡の範囲　　（　元気ショップ工事　　）

3．工事内容　大通交流拠点における新規拡張部（ＲＣ造・地下１階・延べ面積８３１㎡）の電気設備工事を行う。

　新規拡張部より交通島側への移設接点増設による改修、証明サービスセンターを主とする光ケーブルの延線を行う。

4．工事項目　　（●印をけしたものを本工事種目とする）

●受変電設備	●インターホン設備	○	
●時計設備	●電気時計設備	○	
●動力設備	○雷保護設備	○	
●電灯設備	●ﾄﾞｱﾋｰﾃｨﾝｸﾞ設備	○	
●暖房設備	○屋外照明設備	○	
●自動火災報知設備	●情報設備	○	
●拡声設備	○太陽光発電設備	○	
○テレビ共聴設備	●自家発電設備	○	
●構内交換設備	○	●発生材	

備考

5．別途工事　　建築工事・機械設備工事

Ⅲ．工事仕様

1．共通仕様　　図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、以下による。

公共建築工事標準仕様書	（電気設備工事編）	平成２５年版
公共建築改修工事標準仕様書	（電気設備工事編）	平成２５年版
公共建築設備工事標準図	（電気設備工事編）	平成２５年版
公共建築工事標準仕様書	（建築工事編）	平成２５年版
公共建築改修工事標準仕様書	（建築工事編）	平成２５年版
公共建築工事標準仕様書	（機械設備工事編）	平成２５年版
公共建築改修工事標準仕様書	（機械設備工事編）	平成２５年版
以上　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修		
電気設備工事仕様書（札幌市都市局建築部）		平成２６年度版
○札幌市学校電気設備標準図		平成２６年度版
○公営住宅電気設備工事設計施工要領書（札幌市建築部電気設備課）		平成２６年度版
●保安規程（札幌市都市局建築部）		平成２６年度版

2．特記事項　　特記事項中選択を要するものは、●印をけしたものを適用する。

共通事項

機材　設計図書の仕様により選択し、監督職員に使用資材届、承諾図、品質性能等の資料を提出し承諾を得ること。

「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿」（(社) 公共建築協会編集）の活用により評価を受けた材料を使用する場合は、評価書の添付により品質性能等の資料の提出を省略することができる。

工事用動力その他　この工事に必要な工事動力，水，および諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。

工事しゅん功時提出書類

1．諸官庁届出書、検査合格書　　２部

2．各種測定表（監督職員の指示による）　　２部

3．工事写真、完成写真（ネガも含む）　　１部

4．しゅん功図　　原図１部，製本３部

5．縮小原図　　原図１部，製本３部

6．完成図書　　２部

7．その他

　○入居者説明等資料　　戸数分

　●引渡資料　　部

なお、受注者は著作物等（工事写真・完成写真等）の利用を発注者に許諾するものとする。

電子納品　●対象　○対象外

1．電子納品は、札幌市「電子納品運用ガイドライン（案）【営繕工事編】」に基づいて作成する。詳細は、監督職員と協議する。

2．成果品の提出部数（ＣＤ－Ｒ）　　２部

3．設計図ＣＡＤデータの貸与　●貸与する　○貸与しない

貸与するＣＡＤデータは、本工事の履行に必要な施工図及び完成図の作成においてのみ使用し、それ以外の目的で使用してはならない。

貸与したＣＡＤデータは、完成検査時に全て返却し、履行期間中に複製を作成している場合は、全て削除すること。

なお、著作権法第２章及び第３章に規定する著作者の権利或いは著作権法第２章第３節第２款に規定する著作者人格権は、図面を作成した設計事務所等に帰属する。

主任技術者等

1．主任技術者　　建設業法による主任技術者資格を有するもの。（共同企業体の場合は、構成員すべて主任技術者資格を有すること。）

2．現場代理人

3．監理技術者　　建設業法による監理技術者の資格を有するもの及び国土交通大臣の登録を受けた講習を受講したものとする。

4．電気保安技術者○第１種または第２種電気工事士（一般用電気工作物）

●電気主任技術者または同等の知識及び経験を有するもの（事業用（自家用）電気工作物）及び本市が同程度と認めるもの

最大電力　○５００ｋＷ以上

●１００ｋＷ以上５００ｋＷ未満

○１００ｋＷ未満

監督職員詰所　○要（　　）　●不要

火災保険等　工事の内容等により、火災保険、建設工事保険、組立保険等の１以上の保険を付してその写しを監督職員に提出すること。

保険契約定款　保険の期日　始期―保険の目的物が工事現場に搬入される日

終期―しゅん功期限＋１４日以上

公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律　公共工事の入札・契約の適正化を促進し、公共工事に対する国民の信頼の確保と建設業の健全な発展を図る目的である同法を遵守し、施工体制の適正化を図ること。

臨時検査　発注者の工事施行途中における検査の実施

・臨時技術検査　　発注者が必要と認めた場合に行う検査

●中間技術検査　　工事施行途中に行う技術検査

実施回数　１　回

実施する段階①　　②

施工体制台帳等　建設業法並びに適正化法等の対象二事は下請契約の請負金額の合計金額が、3,000万円以上（建築一式工事にあっては、4,500万円以上のもの）であるが、対象金額未満の工事であっても 250万円を超える工事は、施工体制台帳及び施工体系図等の作成又は備え置き等の対象とする（本市への提出は不要）ので要領を監督職員と打ち合わせる。

（１）施工体制台帳

受注者は、「工事担当技術者（様式）」を追加して施工体制台帳を作成し工事現場に備えるとともに、監督職員に提出するものとする。なお、様式には監理技術者、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）の顔写真、氏名、生年月日、所属会社名を記載するものとする。

（２）現場の管理

受注者は、監理技術者、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。

適正な施工の確保について

（１）建設業法（昭和２４年法律第１００号）に違反する一括下請負その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。

（２）建設業法第２６条の規定により受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の監理技術者については、適切な資格、技術力等を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事する者で、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものに限る。）を配置すること。

（３）上記（１）および（２）のほか建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

施工中の安全確保及び環境保全について　受注者は工事に際し、公衆災害の防止、施工中の安全確保、及び環境保全のため、関係法令及び電気設備工事共通仕様書の記述に従う他、以下の項目に留意すること。

●高所作業における落下、転落事故の防止。

●火気の安全管理。

●作業場における酸欠状態及び有害ガス等の発生防止。

●交通安全管理

工事車両の工事現場内への着出入に当たって、実状に応じて交通整理員を適時配置し交通安全管理を行うこと。

なお、北海道公安委員会が認定する路線における工事現場には、１級又は2級検定合格警備員（交通誘導警備員）を配置する。

工事現場の安全衛生に関する管理　労働安全衛生法（昭和４７年法律第５７号）第３０条第２項の規定に基づき特定元方事業者として指名された場合は、関係法令に従い必要な措置を講ずる。

また、敷地内の除排雪については、工事の安全確保等のため適切に行うこと。

工事実績情報の登録　請負代金額が500万円以上の場合を対象とする。

（公共建築工事標準仕様書　第1章　1.1.4 参照のこと）

なお、変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行うものとする。

変更時と工事完成時の間が１０日に満たない場合は、変更時の登録されたことを証明する資料の提出を省略できるものとする。

適合品の活用について　本工事に使用する使用資材のうち、道内で産出、生産または製造される資材等で規格・品質が適正である場合は、これを優先的に使用するよう努めるものとする。

計量単位　計量単位については国際単位系（Ｓ１単位）とする。

工事材料の検査　検査材料（　　）

支給品及び貸与品　支給品及び貸与品（　　）

公共事業労務費調査　受注者は、札幌市が実施する公共事業労務費調査の対象工事（以下「対象工事」という。）となった場合には次の各項に挙げた事項について行うとともに協力しなければならない。

また、対象工事の工期経過後も同様とし、これらに要する費用は受注者の負担とする。

（１）労働基準法に従って就業規則を作成するとともに、現場労働者の賃金及び時間の管理を適切に行い、賃金台帳の整備とその保存を行うこと。

（２）札幌市が指定する面接調査日時に、指定した公共事業労務費調査対象期間の現場労働者の賃金台帳等による調査票等を提出し、面接調査を受けること。

（３）面接調査の結果、発注者もしくは発注者に代わる者により受注者を訪問し、再調査または指導を行うこととなった場合は、受注者が自ら協力すること。

（４）対象工事の一部について下請負契約を締結する場合には、当該下請負業者（当該下請負工事の一部に関わる二次以降の下請負業者を含む。）が前各項と同じ業務を負う旨をその契約書に定めること。

建設機械の選定　工事に使用する建設機械は以下による。

「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成９年建設省告示第１５３６号）に基づき、指定された機械を使用する。本工事において、以下に示す建設機械を使用する場合は、国土交通省「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械及び平成７年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目的で実施された民間開発建設技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用するものとする。ただし、道路運送車両法の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車の種別で、有効な自動車車検証の交付を受けているものは除く。

その旨を施工計画書に記載し監督職員の確認を受けるとともに、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。

なお、これによりがたい場合は、監督職員と協議するものとする。

対象機種	形式	規格
バックホウ	油圧式クローラ型	ディーゼルエンジン（エンジン出力７．５ｋＷ以上２６０ｋＷ以下）を搭載した建設機械に限る。ただし、道路運送車両法の排出ガス規制を受けている建設機械は除く。
ブルドーザ	普通、湿地、リッパ装着付	
トラクターショベル	ホイール型	
発動電動機	可搬式、溶接兼用機を含む	
空気圧縮機	可搬式	
油圧式杭圧入引抜機		
ローラ	ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ	
ホイールクレーン	ラフテレーンクレーン	

揮発性有機化合物対策　揮発性有機化合物が含有しているおそれのある材料については、安全データシート等により確認を行い、極力揮発性有機化合物が少ない材料、または含有していない材料の使用に努めること。使用する材料はＦ☆☆☆☆等の規制対象外材料を基本とし、該当する材料がない場合はＦ☆☆☆又は同等品とすること。

また、施工時・完了後引渡し前においては、揮発性有機化合物の放散を促進するため、繰り返し換気を行わなければならない。

揮発性有機化合物の室内濃度測定　○対象工事

測定対象工事の受注者は、検査機関（計量法第１２２条に定める計量士を配置し、計量法第１０７条に定める計量証明事業登録を行っている機関等）に依頼し揮発性有機化合物の室内濃度測定を行い、基準値以下であることを確認の上、測定結果を監督職員に提出しなければならない。

（１）測定物質

ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン

（２）測定方法

札幌市公共建築物シックハウス対策指針及び同解説に基づき、拡散法（パッシブ法）により測定する。

（３）測定時期及び個所（測定位置等は監督職員と協議のこと）

○施工前　　箇所　　○施工後　　箇所

公共建築物の環境配慮　工事の施工にあたっては、本市の「環境方針」「札幌市公共建築物環境配慮ガイドライン」の意図を理解し、環境に配慮した施工に努めること。

グリーン購入　「札幌市グリーン購入ガイドライン」により環境負荷の低減を考慮した材料等を選定し、グリーン購入の推進に努めること。

札幌市都市局建築部	課名	課長	係長	設計主任	製図	H 26年 2月 日	工事名　社会資本整備総合交付金事業大通交流拠点（新規拡張部）ほか電気設備工事
	電気設備課					・　・　・	図面名　特記仕様書　1　SCALE
						・　・　・	図番　1

法令等の遵守　当該工事における適用法令等を遵守し、必要となる法令等を特定した上で、その一覧（適用法令・要領・要綱・指針・基準・届出時期等）を作成し施工計画書に明示すること。また、監督職員に法令等の遵守状況を月報等で報告し、しゅん功時には届出書（写）を提出すること。

苦情の対応　当該工事における苦情への対応及び報告書（札幌市指定様式）について、施工計画書に明示すること。また、監督職員にその都度報告し指示を受けること。しゅん功時には報告書（写）を提出すること。

建設副産物対策

（１）受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（建設リサイクル法）の対象となった場合は次の項目に挙げた事項について措置を講ずること。

①「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を厳守し、再生資源の十分な利用及び廃棄物の減量等を通じて、資源の有効な利用の確保及び廃棄物の適正な処理を図り、生活環境の保全に努めること。

②工事に着手する前に別途指示する「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を作成し、監督職員に説明の上提出するとともに、特定建設資材廃棄物の再生資源化等が完了したときは、実施書によりその実施状況を報告すること。

③本法律の対象となった場合は、契約等の新たな手続きが必要となるので留意すること。

（２）受注者は、「建設副産物適正処理推進要綱」を厳守して、建設工事の円滑な施工の確保及び生活環境の保全に努めるものとする。

①受注者は、工事着手時に別途指示する再生資源利用計画書（建設資材を搬入する場合）及び再生資源利用促進計画書（建設副産物を搬出する場合）を作成し、監督職員に提出するとともに、工事完了時には、実施書によりその実施状況を報告すること。（契約金額１００万円以上の工事に適用する。）

発生材　発生材は廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき指定された処理施設へ適切に処分すること。
本工事で発生する建設副産物の処理方法は、下記のとおりとする。
また処理施設については、原則として札幌市内の処理施設とし、受入条件等を確認のうえ、事前に監督職員と協議すること。なお、アスファルトコンクリート塊は下記の処理施設へ搬出することとし、提出先の指定の無きものは「産業廃棄物処理業者名簿」を参照し、適切に処理、処分すること。
(http://www.city.sapporo.jp/seiso/jigyousyo/sanhai_meibo/sanhai_meibo.html)

（１）再生資源化施設へ搬出（搬出を行った後，調書を監督職員に提出する。）

●ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊：　指定搬出先
東雁積場　（東区東雁来５条１丁目７５号）
西雁積場　（西区発寒１０条１４丁目３番地）
豊平・南雁積場　（豊平区西岡５２１番地）

●ｺﾝｸﾘｰﾄ塊、ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ

○金属くず

○木くず

○混合廃棄物（分別不能な廃棄物）

○廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ

○廃プラスチック類

○廃蛍光管類

（２）その他の施設へ搬出

○ガラス・陶磁器くず

○コンクリートくず、軽量ブロック・レンガ

○ＡＬＣパネル

○アスファルト防水材

○汚水（杭汚泥）

○泥土、脱水ケーキ

●建設発生土の処理：　●指定地へ搬出（●堆積　○敷均し）
受入先（新琴似８項雪堆積場：札幌市北区新川８０７－５ほか　）
○構内指示の場所に運搬（○堆積　○敷均し）

○引渡を要する発生材：調書を監督職員に提出し下記の保管場所に保管すること。
（保管場所：　　）

（３）特別管理産業廃棄物

○引火性廃油　○廃強酸　○廃強アルカリ　○ＰＣＢ　○飛散性アスベスト
○その他（　　）
アスベスト含有製品の処理については、別項目「アスベスト含有製品の処理等」による。
○「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第１２条の２に基づき、特別管理産業廃棄物管理責任者を選任し管理させること。

（４）有価金属

○有価金属は下記の業者で処分すること。
①札幌市競争入札参加資格者：物品・役務関係・再生資源関係業者
②廃棄物再生事業登録業者（知事登録）
③金属くず商許可業者（警察許可）
なお、搬出を行った際、領収書又は取引伝票及び許可証等の写しを監督職員に提出すること。

○有価金属は、材料引渡リストを作成し、下記保管場所に保管すること。
（保管場所：　　）

（５）産業廃棄物運搬車両表示

産業廃棄物を自己運搬する際に使用する車両には「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条」により定められた表示を行うとともに、その運搬車に必要な書面を備え付けること。（同法施行規則第７条の２第３項及び第７条の２の２）

●ISO9001の適用について　受注者は、ISO認証取得を活用した監督業務等の取扱いの適用を希望するときは、下記①から④までの書類の写しを提出し、工事監督職員と協議のうえ活用工事とすることができる。ただし、低入札価格調査等の対象となった場合を除く。
①ISO9001認証の取得に係る登録証の写し
②ISO9001の審査に係る書類（合否判定結果及び審査報告書）
③工事を担当する内部組織が、ISO9001認証を取得していることを示す書類
④ISO9001認証の範囲が工事の内容に一致していることを示す書類
ただし、①で内容が確認できる場合は③、④は不要

・活用工事の取消しの申し出
ISO9001認証が取り消され、又はその維持が困難と見込まれるときは、速やかに工事監督職員に申し出なければならない。

・活用工事の取扱いの中止
上記活用工事の取消しの申し出、又は受注者の検査記録の確認及び品質マネジメントシステムの運用状況の把握を行った結果、不適合が多いと認められたときは、この取扱いを中止し、通常の監督業務を実施するものとする。

・品質マネジメントシステムの取扱い
（１）受注者は、品質マネジメントシステムに基づき作成する品質計画書に記載すべき事項は、品質方針及び品質目標の他に下記に示す項目を施工計画書に記載し、工事着手前までに工事監督職員に提出し、承諾を得なければならない。
１）検査計画及び確認・立会計画
２）各監視、測定（検定）の担当者及び承認者、資格
３）当該工事現場に対する内部監査計画
４）監視機器及び測定機器管理計画
５）トレーサビリティ管理計画
６）不適合管理計画

（２）特定共同企業体の場合は、その代表者の品質マネジメントシステムを共同企業体の品質マネジメントシステムとして適用するものとする。

・工事管理
工事管理にあたっては「公共建築におけるISO9001：2000適用 電気設備工事施工管理要領（公共建築協会）」を参考とする。

アスベスト含有製品の処理等　アスベストの処理については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令と併せて「アスベスト除去等作業における飛散防止対策について（改訂版）」に従い、必要な措置をすること。
(http://www.city.sapporo.jp/kankyo/taiki_osen/kisei/asbesto/documents/jigyousya.pdf)

１．事前調査等
（１）施工計画書の作成にあたっては、「アスベスト調査票」並びに「当該施設のしゅん功図等」を貸与するので、図面及び現場の目視調査で施工場所におけるアスベスト及びその他有害物質の有無を確認すること。
（２）アスベスト及びその他有害物質の使用が不明な見え隠れ部分の調査については、保護具を装着して、必要に応じて建材を湿潤に保ちながら手ばらしで行い、新たにアスベスト及びその他有害物質を発見した場合には、速やかに作業を中止し、監督職員と施工方法等について協議すること。

２．アスベスト含有製品の処理等
（１）アスベスト含有製品の仕様
○耐火二層管
○フランジパッキン
○ダクトパッキン

○石綿セメント板	厚さ	mm
○化粧石綿セメント板	厚さ	mm
○吸音穴あき石綿セメント板	厚さ	mm
○石綿セメントサイディング	厚さ	mm
○石綿セメント珪酸カルシウム	厚さ	mm
○化粧石綿セメント珪酸カルシウム	厚さ	mm
○押出成形セメント板	厚さ	mm
○ビニル床タイル	厚さ	mm

処理を行う範囲は、図示による。

（２）施工調査
アスベスト含有製品の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。
①アスベスト含有製品使用部位の確認
②アスベスト含有製品の種類、厚さ等の確認
③アスベスト含有製品使用数量の確認
④施工範囲等の確認
なお、含有製品の使用部位、種別または使用範囲等に変更が生じた場合は、監督職員と協議のこと。

（３）作業管理者
「石綿作業主任者」または平成１８年３月以前の「特定化学物質等作業主任者」等の資格を有する作業管理者を選任し、管理させること。

（４）作業標準
アスベスト含有製品処理作業の標準
① アスベスト含有製品の撤去
（ア）アスベスト含有製品の撤去は、内装材及び外部建具等の撤去に先がけて行う。
（イ）建物内部で撤去作業を行う場合は、外部建具を閉鎖するとともに、ガラスの破損箇所又は換気扇枠等で粉じんが外部に飛散するおそれがある箇所をビニールシート等で塞ぐものとする。
（ウ）アスベスト含有製品の撤去は、可能な限り破損又は破断を伴わない方法で行うものとし、原則として「手ばらし」とする。なお、建物外部のアスベスト含有製品を撤去する場合は、出来る限り原形のまま撤去する。
（エ）撤去作業中は、散水その他の方法により、アスベスト含有製品を常に湿潤な状態として作業を行う。
（オ）撤去作業者には、防じんマスク、防護メガネ及び作業衣を着用させる。
（カ）撤去作業後、アスベスト含有製品の破片、破断粉及び作業衣等に付着した粉じんが残存しないよう、真空掃除機等により、清掃及び後片付けを十分に行う。
② アスベスト含有製品の集積、運搬等
（ア）撤去したアスベスト含有製品の集積及び積み込みにあたっては、高所より投下しないことの他、粉じんの飛散防止に努める。
（イ）細かく破砕されたアスベスト含有製品は、湿潤化の上、丈夫なビニール袋に入れる等、飛散防止の措置を講じる。
（ウ）撤去したアスベスト含有製品を運搬するまでの間、現場内に保管する場合は、一定の保管場所を定め、一般の内装材と分別して保管するものとし、シートで覆う等、飛散防止の措置を講じる。また、保管場所には、アスベスト含有製品の保管場所であることの表示を行う。
（エ）アスベスト含有製品の運搬にあたっては、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。
（オ）アスベスト含有製品の撤去、集積、積み込み及び保管等の処理が完了した場合は、速やかに監督職員に報告し、確実に処理されたかの確認を受ける。
③ アスベスト含有製品の処分等
（ア）アスベスト含有製品は、「３．発生材の処理」で示す処分場で処分する。
なお、マニュフェストには、アスベスト含有製品であることを明示する。
（イ）撤去されたアスベスト含有製品の処分が完了した場合は、マニュフェストを監督職員に提出し、処分が確実に行われたことの確認を受ける。

３．発生材の処理
本工事で発生する建設副産物の処理方法、処分場所等への処理条件は下記のとおりとする。
なお、変更が生じた場合は監督職員と協議のこと。
処分施設への搬出（調書を監督職員に提出する）
○飛散性アスベスト：
受入先（参考）　山口処理場（手稲区手稲山口２９５）
○非飛散性アスベスト成形板
受入先（参考）　角山開発㈱（江別市角山425－14）
受入先（参考）　㈱協和環境サービス（江別市江別太420）

特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律（公住用）　○受注者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」（平成19年法律第66号）に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うこと。

その他　受注者は，第１次下請負業者を選定したときは，直ちに専門工事業者選定通知書を監督職員へ提出するものとする。
なお、これらの者を変更・追加したときも同様とする。

札幌市都市局建築部	課名	課長	係長	設計主任	製図	H 28 年 2 月 日	工事名	社会資本整備総合交付金事業大通交流拠点（新琴似張部）ほか電気設備工事	図番
	電気設備課					・ ・ ・	図面名	特記仕様書　2	2
						・ ・ ・	SCALE		

●受変電設備

引込設備	○本工事　●別途工事　●地中　○架空 引込ケーブル　○EM－CE　○EM－CEMAZV ○その他（　　） ケーブル保護材料　○PLP　○FEP
施設場所の方式	○屋内式　●キュービクル式　○屋外式
ましゃ断装置	○CB型　○PF－CB型　●PF－S型
変圧器容量	1φ　75　kVA×　1　台 3φ　50　kVA×　1　台 合計容量　125　kVA

●幹線設備

電線・ケーブル	動力幹線　●EM－CE　●EM－CET　○EM－IE 電灯幹線　●EM－CE　●EM－CET　○EM－IE ●ケーブルラック　W＝800
施工範囲	●配管　●配線　●機器取付

●動力設備

電気方式	3　相3線式　200V　50Hz
施工範囲	別途制御盤、電動機、フロートスイッチへの配線及び接続までとする。
電線管	金属製可とう電線管とする。屋外、水気のある場所では、ビニル被覆金属製可とう電線管とする。
主要用途	排煙機　エアコン室外機

●電灯設備

電気方式	幹線　単　相3線式　210/105 V　50Hz 分岐　電灯回路　単相2線式　200V　50Hz コンセント回路　単相2線式　100V　50Hz
スイッチ	●大型配線器具（プレートは［●新金　○樹脂　製とする］） 取付高さ　一般1．3m
コンセント	●大型配線器具（プレートは［●新金　○樹脂　製とする］） 取付高さ　一般●0．3m　○0．5m
吊ボルト	蛍光灯40（32）形×1灯以上の取付はボルト（φ9mm以上）2本以上を用いて支持すること。（吊ボルトを用いる場合は構造体よりじかに吊ること）
点灯方式及び力率	特に記載のない場合、蛍光灯はインバータ式高力率とする。
接地	照明器具の接地は公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）第2編　2．13．7によるものとし、ケーブル配線の場合EM－IE1．6mm以上にて接地を取ること。
照明器具	公共施設用照明器具とする。 ベース照明はLEDとする。

●暖房器具

暖房方式	●電気暖房　○ガス暖房　○蓄熱暖房　○灯油暖房
電気方式	単相2線式　200V　50Hz
監視方式	○集中監視盤　○グラフィックパネル　●タイマー ●コントローラー　●サーモスタット ●温度調節器（白金測温抵抗体）
現場制御盤	●ナイリスタ方式　○マグネット方式　○無
暖房機	○温風ヒータ　○ベースボードヒータ　○蓄熱暖房器 ○別途　●パネルヒータ　●ヒーティングケーブル（床暖房）
施工範囲	●配管　●配線　●機器取付

●自動火災報知設備

受信機	P型　級　回線（○単独盤　○複合盤）既設交通局R型受信機
連動制御盤	回線（○単独盤　○複合盤）
発信機	P型　1級（○単独盤　●複合盤）
地区ベル	●電鈴　150φ　（○埋込型　●露出型）　○無
機器取付方法	○総合盤　●消火栓箱組込（別途）　○単独設備
煙知器	確認ランプ付
施工範囲	●配管　●配線　●機器取付
立会検査	●有　○無

●拡声設備

アンプ	W（○調整卓型　○卓上型）
非常放送用アンプ	60W　10局　（非常／一般兼用型）
施工範囲	●配管　●配線　●機器取付

○テレビ共聴設備

アンテナ	○ステンレス　○アルミ　UHF　素子
直列ユニット	○埋込型（○1端子　○2端子）
同軸ケーブル	低損失型
施工範囲	○配管　○配線　○機器取付

●構内交換設備

施工範囲	●配管　●配線　○機器取付
主装置形式	○電子交換機　○電子ボタン電話装置
電線・ケーブル	1．端子盤～電話機　BTIEEO．4－2P 2．配線盤～端子盤

●インターホン設備

施工範囲	●配管　●配線　●機器取付
電線・ケーブル	EM－AE1．2－4C
機器種別及び機能	同時相互通話機能（親子式）

●電気時計設備

施工範囲	●配管　●配線　●機器取付
親時計	1回線　壁掛型　長波受信タイプ　アンテナ別置
子時計	310φ丸型
電線・ケーブル	CPEE－S1．2－1P・CEE－S0．75－5C

○雷保護設備

受雷部	○突針　○水平導体又はメッシュ導体　○棟上導体
引下げ導体システム	○引下げ導線　○構造体利用引下げ導線
接続箱	○要　○不要

●コードヒーティング設備

変圧器容量	1φ　kVA×　台 3φ　kVA×　台　合計容量　kVA
電気方式	単相2線式　200V　50Hz　総電力7．95kW
布設面積	31．78㎡
設計発熱量	250W／㎡
ヒーティングケーブル	ピッチ　50（mm） 幅　1．0（m） ●汎用　○耐圧用　○歩道橋用
ユニット数	3ユニット
リードケーブル	RHVV　5．5sq－1C
制御	○遠隔制御　●多要素（地温・降雪・外気温） ○温度調節器（白金測温抵抗体）
契約電力	○融雪電力　○第2融雪電力　○その他（　）
代表監視	○有　●無
その他	

○屋外照明設備

電気方式	相　線式　V　50Hz
引込方式	○架空単独　○架空連接　○地中単独　○地中連接
ポール	○段付丸ポール　○デザイン灯型
灯具	○公園灯用　○公住用　○デザイン灯型
安定器	灯用　型　V　W
ランプ	灯　W
点滅方式	○自動点滅器　○タイマー
その他	ポール地際部には防食処置を施すこと。

●情報設備

施工範囲	●配管　●配線　●機器取付

○太陽光発電設備

施工範囲	○配管　○配線　○機器取付
太陽電池モジュール	総容量　kW
パワーコンディショナ	方式　相　線式　V 総容量　kW

●自家発電設備

施工範囲	●配管　●配線　●機器取付
電線・ケーブル	EM－FPT、EM－CEE
機器種別及び機能	3φ3W200V50kVA85dB 屋外型・寒冷地仕様 燃料タンク搭載型 長時間運転可能

札幌市都市局建築部	課名	課長	係長	設計主任	製図	H 26 年 2 月 日	工事名	社会資本整備総合交付金事業大通交流拠点（新規拡張部）ほか電気設備工事	図番
	電気設備課					・　・　・	図面名	特記仕様書　3	3
						・　・　・	SCALE		

工事区分

項目	建築	電気	機械	備考
躯体の設備配管用スリーブ及びボックス入れ	●	●	●	器用躯体開口は建築
同上スリーブ補強	●	○	○	
天井壁取付け設備機器用穴あけ及び補強	●	○	○	すみ出しは設備
設備用天井・床下点検口	●	○	○	位置は協議、すみ出し・施工は建築
設備機器用穴あけ及びモルタル充填・断熱材補修	●	●	●	
設備用機器基礎	●	○	○	
換気扇等の取付け用枠	●	○	○	
設備機器取付け用下地補強	●	○	○	

工事記録写真撮影要領

工事写真

1．次項以下によるもの以外については国土交通大臣官房官庁営繕部編営繕工事写真撮影要領（平成24年版）・同解説工事写真の撮り方（建築設備編）による。

2．撮影対象及び枚数

1）工事写真は主として工事の不可視部分及びその施工の状況を撮影する。

2）撮影対象及び枚数については監督職員の指示による。

3．撮影方法

1）写真記録員

請負人は内容及び目的を理解している者を写真記録員に定め撮影及び記録を行う。

2）撮影条件の明示

原則として写真の一部に工事名、撮影位置、撮影年月日及び撮影対象の設計寸法又は数量（略図で示してよい）を記入した小黒板を入れる。撮影時に監督職員の立会を受けた場合のみサイン（監督職員自身の）を記入する。

3）寸法の明示

撮影対象には必要に応じ規準線（下げ振り、水糸等で示す）を明示し、主要寸法が読み取れるような目盛り（スタフスケールテープ、リボンテープ等）を入れて撮影する。

4．写真の整理

1）監督職員への提示

撮影の都度写真をアルバムに整理し、監督職員の要求があった時は、遅滞なく提出する。

2）写真の大きさ

L版（サービスサイズ程度）とする。

3）アルバム

写真はA4版ファイルに整理し、表紙に工事名・工期・請負者名を明記すること。

4）デジタルカメラの使用について

印刷等の出力については、①プリンターはフルカラーで300dpi以上、②用紙インク等は通常の使用のもとで3年間程度に顕著な劣化を生じないものを使用する。

また、ネガフィルムに代えて、写真データ（JPEG形式）をCD－R等に記録したものを提出すること。

その他は1．～3．を適用する。

しゅん功写真

1．撮影対象及び枚数

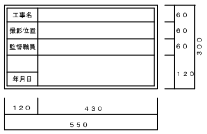
工事写真の項2－2）に準ずる。

2．写真の整理

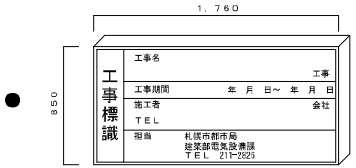
工事写真の項4－3）及び4－4）に準ずる。

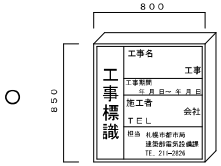
ただし写真の種類はカラーサービス版とする。

小黒板の寸法（参考）



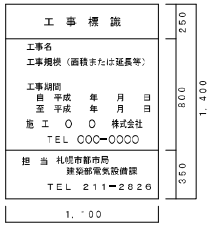
工事標識



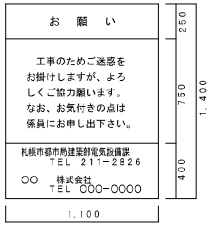


表面材：着色カラー鉄板白色厚0．35mm　文字は黒色

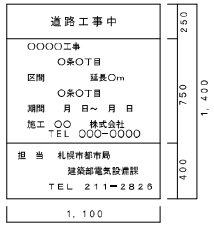
様式1（街路灯工事）



様式2（街路灯工事）



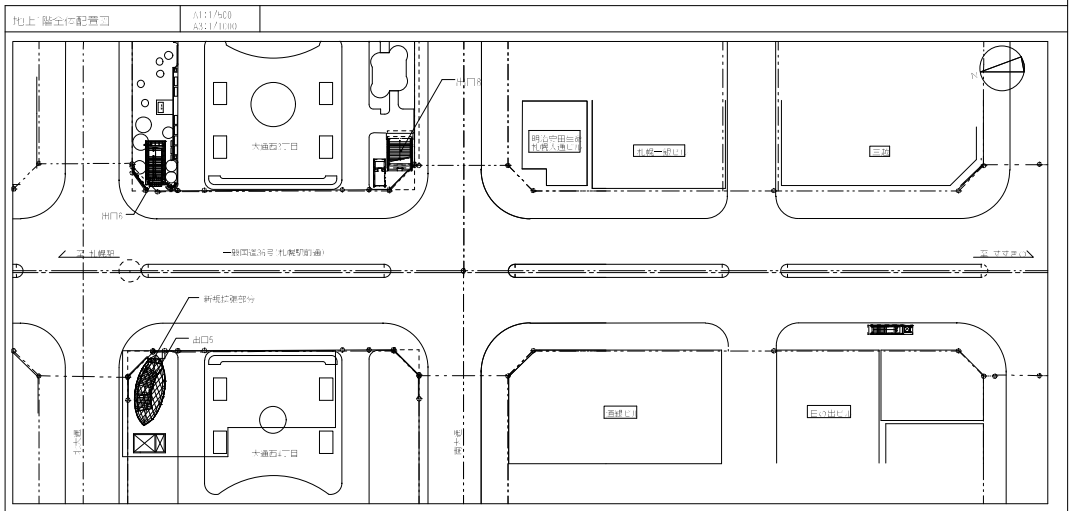
様式3（街路灯工事）

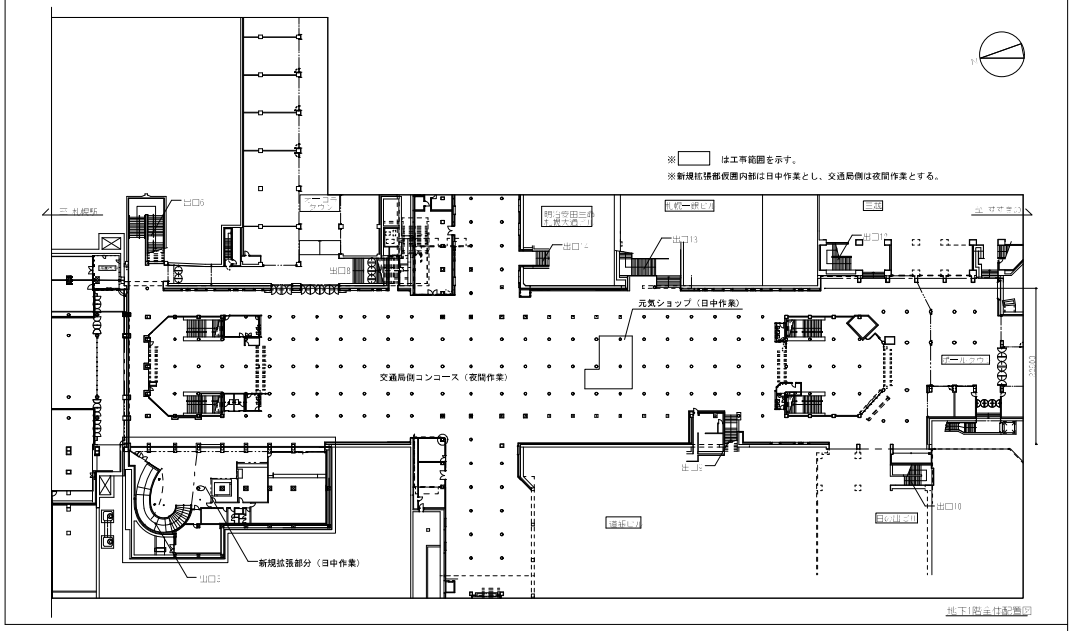


様式1～3の表面材：着色カラー鉄板白色。文字は、長期にわたり変色しないものを使用し、「工事標識」「お願い」「道路工事中」は反射材料（赤）を用い、他の部分は（青）を用いる。

工事看板を小さくする（1，100－550）場合は、施工協議簿により監督員の承認手続きをとること。

札幌市都市局建築部	課名	課長	係長	設計主任	製図	H 25 年 2 月 日	工事名	社会資本整備総合交付金事業大通交流拠点（新規拡張部）ほか電気設備工事	図番
	電気設備課					・　・　・	図面名	特記仕様書　4	SCALE



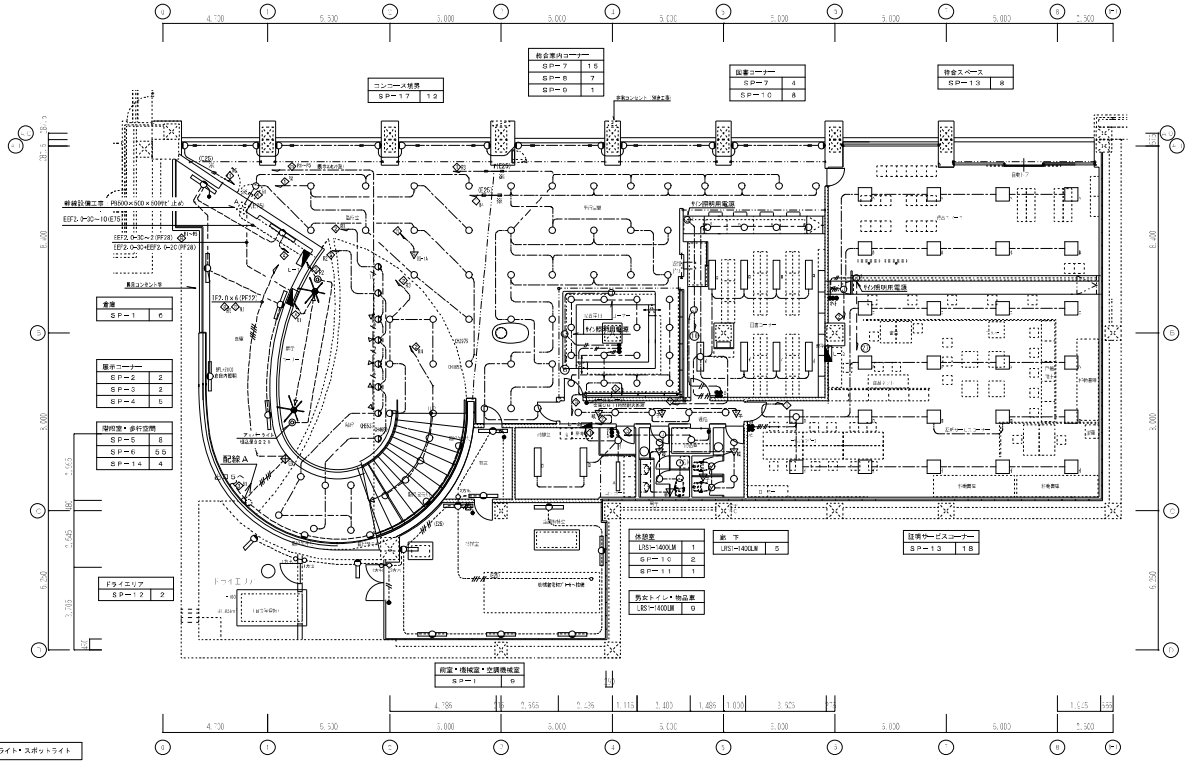


訂正事項

株式会社 北日本技術コンサル
（一般）建設土木部門（北海道）知事登録（石）第6741号

工事名
社会資本整備総合交付金事業
大通交流拠点（新規拡張部）ほか電気設備工事

図面名称	縮尺	校閲	起番	製図	作成年月日	図面番号
附近見取図・配置図	1/2500, 1/250				R26・02	E／05



配線A

EEF2.0-3C(PF22)：出口5ダウンライト・スポットライト

凡例　特記無き限器具、配管、配線は下記による。

○	ダウンライト
◐	ユニバーサルダウンライト
□	埋込型ベース照明
▭	一体型ＬＥＤ照明
▭	一体型ＬＥＤ照明
▭	一体型ＬＥＤ照明
◐	ＬＥＤ照明（一体型または カバー付直管ＬＥＤ）
▽PH	昼光センサー
◎	床埋込型アッパーライト
▽	スポットライト
―・―	EEF2.0-3C　天井内ころがし配線　保護管PF22
―／5／―	EEF2.0-5C+EEF2.0-2C　天井内ころがし配線
―／7／―	EEF2.0-5C+EEF2.0-2C×2　天井内ころがし配線
―／9／―	EEF2.0-5C×3　天井内ころがし配線
―／11／―	EEF2.0-5C×2+EEF2.0-2C　天井内ころがし配線
――――	EEF2.0-5C　アーマフロス内配線　保護管PF22
― ― ― ―	IE2.0×3（PF16）　床コンクリート内配管配線
-####	IE2.0×6（PF22）　床コンクリート内配管配線
――――	IE2.0×3（PF16）　いんぺい配管配線
―#―	IE2.0×2（PF16）　いんぺい配管配線
-##-	IE2.0×5（E25）　露出配管内配線
●	埋込スイッチ15A×1（ボタル）　新会プレート
―▭―	金属製管防雨蓋処理　サイズは個別による
∴A	プルボックス　600×600×500
⊠B	プルボックス　200×200×150

立上げ・引下げはＰＦ管にて保護する。
ＬＥＤ種から総合案内、貸書コーナーの電灯配線はコンセント設備の区画貫通ＣＶ５を使用する。

訂正事項

株式会社　北日本技術コンサル
（一級）建築士事務所（北海道）知事登録（石）第４７４１号

工事名　社会資本整備総合交付金事業
大通交流拠点（新規拡張部）ほか電気設備工事

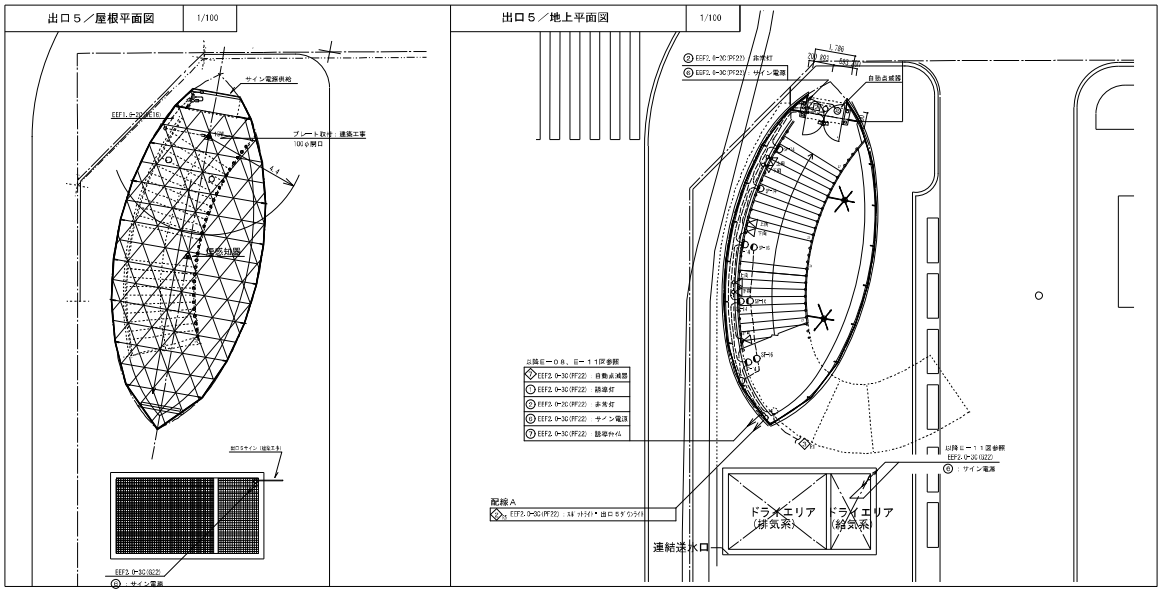
図面名称　地下１階　電灯設備図

縮尺　1/100

校閲　起図　製図

作成年月日　R26・02

図面番号　E／06



出口５（上部トラス）	
E(−19)(P−E11)	1

※誘導ナヤイム取付方法について
天井内に機器収納、建築工事にてｽﾘｰﾌﾞ部分をパンチングとする。

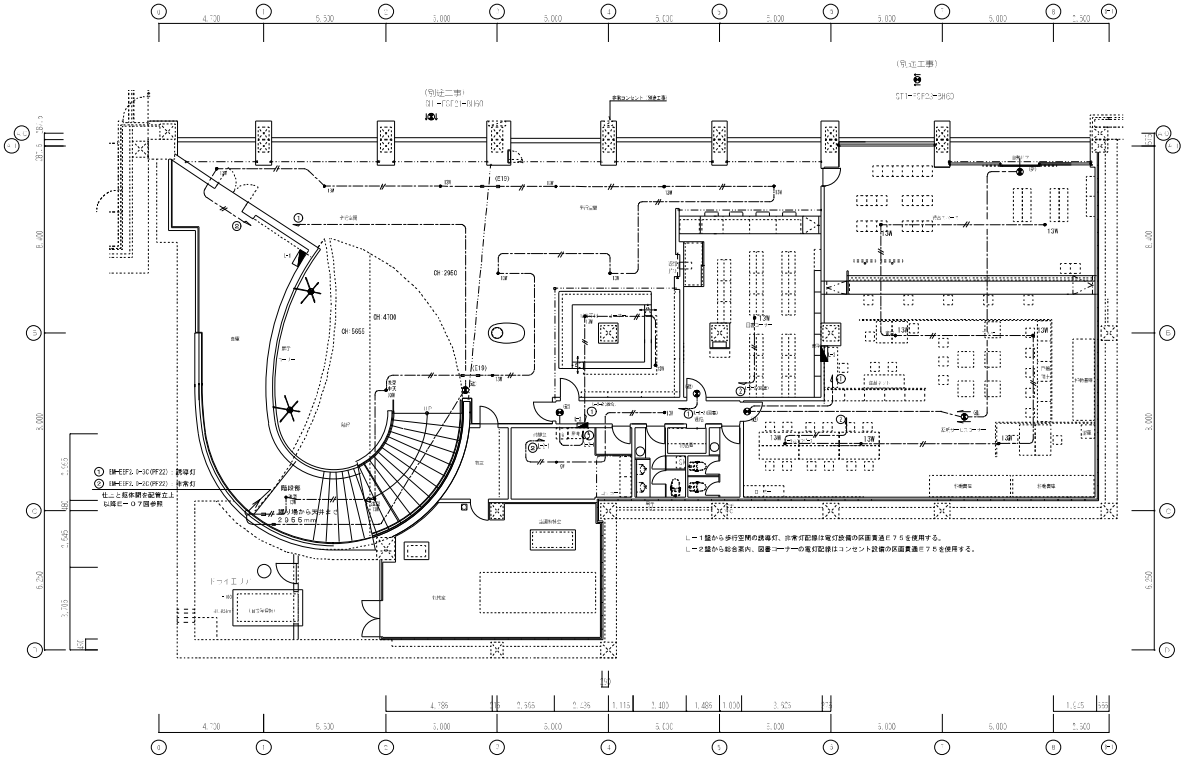
出口５	
ＳＰ－４	7
ＳＰ－１４	6
ＳＰ－１５	1
ＳＰ－１６	3
SP−FSP20−B(W)	1

訂正事項

株式会社　北日本技術コンサル
（一般）建設土木部系（北陸支）知事登録（石）第６７４１号

工事名　社会資本整備総合交付金事業
大通交流拠点（新規拡張部）ほか電気設備工事

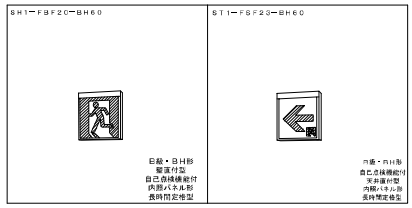
図面名称　電灯設備　１階平面図
縮尺　1/100
校閲　起図　制図
作成年月日　R26・02
図面番号　E／０７



非常灯１３Ｗのみ全て長時間定格型とする。
９Ｗ、３０Ｗは長時間定格型が無いため一般型とする。

避難口誘導灯、通路誘導灯は全てＢＨ６０型とする。

地下１階平面図


SH1-FBF20-BH60
SH1-FBF20-BH60
SH1-FBF20-BH60